萬華鏡

諸君は喫茶店といふと直ぐに吉野町や大同大街を想像するだらう、がしかしそこらにある店ばかりが喫茶店で無い、不夜城五馬路を行くと「アレ、こんな所にも喫茶店が」とびつくりする様な淋しく取残された店がある▼喫茶店とは名ばかり近代的な表構へでも無い、所がこれで五馬路出入のアンチヤン連に愛好され仲々繁昌してゐて、常連が何時も顔を見せてゐる▼でそこのミツチヤンといふ娘さんはサービスが仲々良いのでファンも多い、店に蓄音機が無いので、その代用品として話相手になつてくれるだから來る客、來る客がみんなミツチヤン、ミツチヤンとゼンマイを巻いて蓄音機の回轉をよくするのである▼アノネこれは秘密ですがね、ある手相家？が彼女の結婚時期について語つた彼女それを聞いて我が意を得たりとばかり「えゝ私二十四位で結婚するつもりよ」とはまあ氣永い、一寸五年先の話ですね▼一體何といふ店かと聞かなくても敎へてあげるよ、これは山の家といふ店です、山の家と言つてもちやんと先に言つた如く五馬路の中で狼も熊も居ません、もつとも時時場所柄トラが顔を見せますがね▼日曜日の午下りなぞしんみり話すのはもつて來いですぞ、但し彼女にヨイ人が居るかどうかそれは絶對に本當の秘密です、我と思はん人は探檢に行つて下さい、よい收獲を祈ります▼變つた所と言へば公會堂の横にある射的屋、酒に醉つて銃を打つのもまたヨキです、美しい娘さんがたくさんゐて煙草打つのか、それともハート打つのかお客が澤山來てゐます、まだ名を訊かないので何れ各自にわたつて紹介しますが、今日はその中で知つてゐる人だけ▲先づ文チヤン、この人はほとんど一番奥の方に位置してゐるオトナシイ日本娘さん、お客さんがからかつても默つて赤い顔します、反對にからかふと無邪氣に應對して來るのがヨツチヤン、チツトやソツトでは負けません、だから案外無邪氣に見えてよく人を知つてゐるのかも知れません、後はまたこの次

小林重四郎
＝月澄江の踊りとゝもに　七日より帝キネへ

元東寶スター、唄ふ劍戟俳優として人氣の高い小林重四郎と元日活スター月澄江の『歌と踊り』のアトラクションは既報の如く七日より帝都キネマの舞台を飾ることになつたが、「江戸の白鷺」「でかんしよ侍」等でお馴染みのスクリーンの美麗が舞台からの肉聲としふんだんに樂しめやうといふ趣向

同時上映々畫は入江たか子、大日方傳、霧立のぼるの共演「リボンを結ぶ夫人」獨トビス「モナリザの失踪」で「モナリザの失踪」は國都では未封切のものである【寫眞は小林重四郎】

滿映ニュース
第五十八報

（一）神苑に奉仕する滿洲協和青年（橿原・新京）（二）流氷から結氷へ（多の松花江（哈爾濱）（三）東宮大人開拓村の話題1、東宮大人開拓村訪問（彌榮・千振）2、訓練所へ馬の輪送（勃利）（四）密林を貫く開發列車（橫道河子）

都山流尺八演奏會開催
九日夜西廣場倶樂部で

九日午後六時から西廣場滿鐵社員倶樂部で都山流尺八演奏會が開催される、第一部、第二部何れも六回山本緩山師が司會箏三絃側の應援がある

＝第一部＝

一、中尾都山作曲本曲「八千代」總員

二、菊原檢校作曲「銀せ界」松浦篠鳳、吉岡篠笙、松浦篠、松本緩翠、小山緩嶺、松木伍童、小山个英、松浦个州（箏本手）三浦千惠子、藤田博子、安坂千惠子、高山和子、三宅良子（箏替手）菊水秀芳、野田重子

三、菊岡檢校作曲「樗枕」井上个山、馬場杖山（箏）早川誠子、大林小枝、大林節子、水野淸子、（三絃）小松雅蓉、內野登美子、天野淑子

四、菊武祥庭作曲「稚兒櫻」渡上廟山、加藤都習（箏）河崎雅榮、松本恭子、和田央子、林田信子、片桐智子、山村愛子

五、宮原檢校作曲「新娘道成寺」北澤令山（三絃）一部）小松雅蓉、安間雅綾（箏二部）伊藤雅紫津荻原雅曉

四、光崎檢校作曲「櫻川」山本緩山（箏本手）井上芳子、小松マス子（箏替手）佐藤規巨、河崎久子（三絃）河崎雅榮

五、中尾都山作曲本曲「木枯」尺八獨奏秋元篠山

六、久本玄智作曲「感謝の一日」（尺八一部）秋元篠山、山下列山、高場杖山、井上个山、渡上廟山、中田翔山、原篠鳳、松本緩翠、松浦篠、小山个英（第一箏）小松雅蓉、安間雅綾、水野淸子、大林節子（尺八二部）北澤鈴山、新宅柊山、新宅伍山、後藤翁山、吉川數山、加藤都習、吉岡篠笙、小山緩嶺、松本伍童、松浦個州（第二箏）伊藤雅紫津、荻原雅曉、早川誠子、天野淑子

六、三谷操錦、松田錦鶯（箏）久本玄智作曲「田園の春」（尺八一部）山本緩山、山下列山、馬場杖山、井上个山、渡上廟山、中田翔山、原篠鳳、松浦篠、松本緩翠、小山个英（尺八二部）北澤柊山、新宅伍山、後藤翁山、吉川數山、加藤都習、吉岡篠笙、小山緩嶺、松木伍童、松浦个州（第一箏）河崎雅榮、佐藤規巨、三上いく、小松操、川井上信子、竿下啓子、上田鶴子、石川多津子、大隈節子、河崎春子（第二箏）若田雅淑、井上芳子、小松マス子、中山昌子、濱口露子、奥美保子、河崎久子、勝間文子

＝第二部＝

一、八重崎檢校作曲「茶音頭」中田翔山、吉川數山（箏）三宅良子、田中照子（三絃）菊水秀芳、野田重子

二、松浦檢校作曲「四季の眺」山下列山、後藤翁山（箏）松田錦鶯、泉谷秀子（三絃）三谷操錦

三、宮城道雄作曲「初鶯」新宅柊山、新宅伍山（箏

海外映畫短信

△最近アメリカ映畫界ではB級映畫の排擊が各方面で叫ばれ各社では四〇年度作品スケジュール發表に際し競つて自社作品の大半がA級作品である旨を強調しメトロではメトロ・ゴールドウイン・メーヤーの社名を記す場合此のスペルの中に含まれるAの文字を特にゴジック活字を用ひてA級を宣傳しワーナーでは前年度の標準「A級映畫はワーナー」を「A級映畫はアクション」と改めてゐる有樣だが更に同社ではこの趣旨を徹底させる爲めB級作品專門のプロデューサーとして多くの作品を發表したブライアン・フオイを解約すると同時に多數のB級作品專門男女優に對して契約延期の意志のないことを表明したのでセンセーションを惹起してゐる

△メトロ撮影所では目下「ブロードウエイ・メロデイ一千九百四〇年」「ニツク・カーター」「ペンリイはアリゾナへ行く」「市俄古の伯爵」「他の影なき男」の五大作品を撮影中とのことである

雜音

帝キネと豐劇けふから寫眞替り、帝キネはダニエル・ダリユウ主演映畫を二本並べた特輯プロ「禁男の家」と「不良青年」はダリユウファンには相當の魅力である▼豐劇の方は「心の太陽」と「小栗栖長兵衛」で二本立、強い吸引力はなく平凡な番組であると云へる▼滿映の「鐵血慧心」が八日から長春座に出る「寃魂復仇」「東遊記」に次ぐ邦人への公開は三度目であるが、成績如何は、滿映作品の邦畫館への進出について重ねて審議を加へる好材料とならう

近藤勇

橋爪彥七

西正世志畫

（八十二）

劍（五）

『喚いたな會津の犬め！』

と、叫ぶを機ッかけに、

忽然！人と刀と、咬みあふやうに競り合ふと、後は――亂刄。

寄るかと思へば、忽ち、月波へ石を投げたやう、刀林のそよぎが入り亂れる。

そのうちに――バタリ！地響きと共に一人が斃れる。續いて一人が、横鬢の傷を押へて地に伏した。

『うぬ斬つたなッ！』

『朋友の仇ッ』

敵は、續けさまに叫んで罵つたり、押し寄せたり、鬪いたり、ただ一人の野口を持て餘し氣味に見えたが野口の體は、鹿の跳躍するやうに、或は、猛獅子の躍りかゝるやうに、身輕に、力強く、脚を躍らせ、刀を自在に揮込んで亂髪亂鬚、

『むッ！』

とか、

『狗鼠ッ！』

とか、ときどき叫びながら、一足一足、四條橋畔を血に染めながら、浪士の群を仆して行つた。

（よし、もう四人！）

野口は、流石に、蒼白になつて呼吸を喘がせつゝ、幾分あせり氣味に、敵を呑んで大上段！

『まだかッ！』

絶叫して、嚴粹の劍。

一人が。大地に仰つて、野口の電瞬の返しに、一人がよろ〳〵と橋の欄干に凭れて、

『あゝ――』

斷末魔の叫びが聞えた。

もうその時には、逃げやうとした一人が、反對側の欄干に追ひつめられて、右手で刀を突き出したまゝ、左手で。顔を覆つて、斬られるがまゝに、斬られやうとしてゐた。

『喰へッ』

と、いふ野口の叫び際が聞えて無抵抗な――首を縮めて、欄干から後向きに身を反らしてゐる敵に一刀を揮り降ろした途端、

『かうかッ』

と、野口の背後から、忍び寄つた一人が、烈しく、刀を舞はせてゐた。

『なにを！』

應へたが野口、いさゝか小鬢を血に染めて、

『死ねッ！』

敵が、飛び退いて、周章て構えるも構えぬもなかつた。

『覺えたかッ』

絶叫とともに、敵の頭にぽんと鈍い音がして、刀を構えたまゝで、敵の體が崩れた。

『見ろ！』

野口は、ほつと一息ついた。

衣服も、顔も、手も、足も、まるで臙染めのやうだ。無論夜の眼にはそれと分らぬが、全身に感じる血腥さはどうか。

（皆殺しにした！）

安堵か、輕く胸に來て、闘志が緩んで、全身に、やうやく疲勞が感じられてきた。

汗が、血が、眼に入つたのであらうか、急に眼に痛みを覺えてきた。

途端に――がさと、物の動きがして、ぴゅーッと刄風が、感じられて、

『まだ居たか！』

躱して、叫んで、横なぐりに刀を振つて、跳ね退いたが、同時に

『うむ……』

と、身を縮めた。

熱い、灼熱の棒が、脇壺へ突き貫つたやうで、物凄い眼で四方を睨んだが、瞬間に、飛び退いたのが、反對に、敵の居る方へ、體を投げ附けたのだと知つて、急に力の抜けて行くのを感じた。

『殘念！』

と、唇を咬んで、そしてそれでもう殘りの力も盡きたらしく、野口は眼を瞑ちた。無論、大地が彼の體をしづかに受け取つてしまつたのである。

商況 五日前場

▲海外電報

論敦金塊	八磅八志〇〇
論敦銀塊	二三片三分一〇
同 先物	二三片六分一
紐育金塊	三五弗〇〇一
同 銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

米英爲替	三弗九仙〇〇
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	七弗四五仙
英米爲替	四弗〇二仙〇〇
英日爲替	一志二片三二分一七
英支爲替	四片八分〇三
英佛爲替	一七六法郎〇〇〇

▲紐育株式

スチール株	六六弗〇〇
アナゴンダ	三〇弗四分一

▲紐育棉花

現物	十仙三一
十二月限	十仙一二
一月限	十仙〇八
三月限	九仙八七
五月限	九仙五六
七月限	九仙二三

▲印棉

ブローチ	一九八留比〇〇
オームラ	一六一留比二分一
ベンゴール	二二二留比〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	一四一・〇	一四四・六
大新	七〇・〇	七〇・〇
鐘紡	一八二・二	一八二・六
同新	一二八・三	一二七・八
帝新	一二八・一	一二七・三
洋絹	九七・八	九七・一
日發	九八・四	九七・四
郵船	九一・八	九一・一
同新	一〇二・〇	一〇・六
日石	八八・六	八六・五
日立	八八・九	八八・六
滿業	九五・二	九四・六
電工	八〇・七	八〇・九
東電	―	―
日電	六三・七	―
滿鐵	―	―
日新	七四・三	八三・六
糖會	七五・八	七五・九

▲大阪株式（短期）

新東	―	八三・五
大新	一四六・五	一四六・四
鐘紡	一〇〇・四	―
同新	一二八・五	一二八・四
滿業	八二・〇	八二・〇
日魯	七〇・七	七八・五
帝新	一二〇・六	一二九・七
商船	九八・五	九八・二

▲大連株式（短期）

五品	[illegible]	[illegible]
大新	七〇・〇	七〇・〇
新東	一四六・〇	一四四・七

公債 株式 現物賣買 畑園太商店 新京中央通廿一番地（中央郵便局前） 電(3)二三九四・六一六五

各地商品市況

滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	三	―

▲大阪綿布

十二月限	―	―
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

▲東京人絹

當限	―	―

▲大阪棉花

十二月限	[illegible]	―
十二月限	[illegible]	―
一月限	[illegible]	―

▲大阪期米

一月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

當限	―	―
中限	―	―
先限	―	―

▲横濱生糸

當限	―	―
五月限	―	―
六月限	―	―
七月限	―	―
十二月限	―	一
十二月限	一九七〇	時
一月限	一九六四	―
二月限	一九四四	―
三月限	一九三九	立
四月限	一九三八	―
現物	一九六〇	會

水曜 丁丑 大安 滿 舊十二月廿六日 六日 杉宿 東京・本郷・神誠館

● 一白の人 今は低くとも次第に向上す失望する事勿れ 乙と庚と乾が吉

● 二黒の人 平和を保つ様にすれば憂ひなし飲食物注意 丙と申と辛が吉

● 三碧の人 足元の收拾を省みず先にのみ走り過ぐる日 甲と乙と丁が吉

● 四綠の人 沈みたる氣を引き立て心を揃へて勵むべし 甲と乙と丁が吉

● 五黃の人 住めば都なり不足不自由を思はず勵むが勝 丁と申と艮が吉

● 六白の人 次第々々に外界に伸び行く日新事を爲す吉 辛と子と癸が吉

● 七赤の人 人言を容れ妄動を愼む時は大に發展すべし 庚と壬と艮が吉

● 八白の人 他に出ての周旋事は不結果に終り易き日 丙と未と庚が吉

● 九紫の人 生氣を振作し久しきに堪ゆる意地あれば吉 甲と巳と丁が吉

大正九年十一月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓
郵税　一ヶ月十錢
廣告料　普通一行一圓五十錢　特別同二圓五十錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　和波叢
印刷人　水越内之介

わが强硬要求を容れ　英側、善處を約す

封鎖取扱に寛大措置

【ロンドン四日發國通】重光大使は本省からの訓令に基き四日午後四時半外務省にハリファックス外相を訪問、五日より實施される英國の對獨封鎖に關して重ねて協議し、わが方の主張を記した文書を手交、卅分に亙り詳細説明し次いでバトラー外務次官とも會見、約一時間に亙り極東問題に付き意見を交換した

重光大使は特にドイツからの買付品は日本および滿洲國にとり極めて重要である點を强調し更に對獨封鎖に關聯して日英兩國間に紛糾を生ずることは双方にとり好ましくないからと英國側の注意を喚起した、これに對しハリファックス外相は日本の立場を諒とし日本向け輸出に對しては事情の許す限り便宜な取扱方を行ふ旨誠意を披瀝し實際的の取扱方法については引續き日英の事務當局を督勵して交渉を重ねしめることゝなつた、またバトラー次官は日頃日英關係の改善を希望してゐるので今回の封鎖問題についても充分好意的盡力を惜しまぬ旨を約した、かくて前後二回に亙る重光ハリファックス會談で英國側はわが方の事情を諒解し殊に時局柄わが國との關係を惡化せしめたくないとの意圖が明瞭となり日本品に對して實際上の取扱に當り寛大な措置をとることがほゞ期し得ることゝなつた【寫眞は重光大使（上）とハリファックス外相】

最高峯地帶を猛攻

中條山脈包圍作戰愈よ高潮

【中條山脈○○前線にて五日發國通】中條山脈の天嶮を利して巧妙なる防禦陣地を二重三重に構築して頑强に抵抗をつゞける二萬の敵匪に對して零下卅度の酷寒を冒して猛攻を加へてゐる重松、荒木、守戸の各部隊は四日黎明よりいよいよ最高峰地帶に向つて攻擊を開始し正午には早くも白雪皚々たる唐王山ならびに一五二七高地を占領、感激の日章旗を掲げた、また武田、大坪の兩部隊は敵七個師を完全に牽制してこの間猛烈なる敵の抵抗を排して○○に進出、敵第三軍を包圍圈内に押込み、一方大瀧部隊は得意の快速を利用して第一線の○○平地にあつてわが攻撃に右往左往逃げ惑ふ敗殘匪を急追捕捉し○○平地の隨所に敵の構築せる半永久的防禦陣地を徹底的に粉碎多大の戰果を收めてゐる、なほ三日敵に與へた損害は左の如し

敵遺棄死體六五二、捕虜八、鹵獲品＝小銃六五、輕機二〇、彈藥二、八〇〇、その他多數

【老泰廟五日發國通】肌をさす寒氣と闘ひつゝ中條山脈の峻嶮に據る頑敵を包圍殲滅中の重松、荒木、竹田、大瀧、大坪、守戸、河合、松田の各部隊は引續き老泰廟より保安村に至る山裾の線に沿つて北、西、南の三方よりぢりぢりと敵を壓縮する一方陸鷲高田部隊の○○機も上空より緊密なる連繫をもつて地上各部隊に協力して殲滅戰は愈々高潮に達しつゝある

英海軍機の活躍　獨逸Uボートに爆彈投下

重慶元老派にもソ聯不信熱增大

【香港五日發國通】重慶來電によればソ聯軍のフィンランド攻撃は重慶政界にも衝擊を與へソ聯に對する不信が又復增大されてゐる

即ち于右任、戴傳賢、居正、張繼、陳果夫等元老派および右翼派は地方將領の露骨な反共態度表明と共にます／＼反ソ反共態度を硬化し、行政院改組に對しては中國共產黨を絕對に排斥すべしと主張して國民黨員間には最近ソ聯の侵略の魔手が何時支那にも向けられるか保障出來ぬとの覺醒したる感情が漲つてゐる

一方王寵惠、王正廷、許世英等歐米派はソ聯を疎外して親米關係を開拓すべきことを力說し駐ソ新大使賀耀組を即刻本國に歸還せしむべしとの强硬論さへ起つてゐる

芬政府ウ市に遷都

ソ聯軍七千ペッアモに上陸

【ヘルシンキ四日發國通】フィンランド政府は既に一般市民にヘルシンキ撤退を命じたが四日夜政府自體もヘルシンキの西北方四百キロのボトニア灣に臨むウアサ市を假首都と定め直ちに遷都を開始した

【キルチネス四日發國通】フィンランド軍は目下北部戰線でソ聯軍との間に激戰を展開中であるが所謂北極公路の東部ノルウエー國境に於てはソ聯軍の猛攻に耐へ士氣頗る軒昂果敢な抵抗を續けてゐるがペッアモ附近に於ては四日更に新たなるソ聯軍約七千が敵前上陸を行つた、なほ芬軍に捕はれたソ聯軍捕虜は疲勞困憊し過去三日間殆ど糧食なしで闘つたと語つてゐるところから見ると北部戰線に於けるソ聯軍は相當苦戰を續けてゐる模樣である

英帝御渡佛

【ロンドン四日發國通】英帝ジョージ六世は英國派遣軍御慰問のため御渡佛、四日バッキンガム宮殿より左の如く發表された

皇帝ジョージ六世は英佛海峽を横斷され四日午後フランスに上陸遊ばされた、英軍本部首席連絡將校で數日來休暇歸國中の皇弟グロスター公も同行された

對ソ感情俄然惡化

米、伊の輿論

【ジュネーヴ四日發國通】ソ聯のフィンランド進略により米洲諸國の對ソ感情は俄然惡化し近くソ聯糺彈の共同宣言を發すべく目下協議中と傳へられるがアルゼンチン政府代表は四日南米洲各國代表の贊成を得てソ聯を國際聯盟より除名すべき旨の動議を聯盟事務局に提出した

【アバディン＝ワシントン州＝四日發國通】ソ聯軍のフィンランド侵入は米國の一般輿論を痛く刺戟し四日アバディン市において四、五百名の群衆が折柄同市の勞働者會館に開催中の共產主義者の集會を襲擊同會館の内部を滅茶々々に破壞し壁間に掲げられてあつたスターリン及び米國共產黨の大立物アール・ブラウダーの寫眞を引下して燒拂つた事件あり、當時館内には約卅名の幹事連が集つてゐたが逸早く逃走して危ふく難を避けた、對ソ感情惡化と共に反共機運も漸く熾烈化してゐる

【ローマ四日發國通】イタリー官民は一兩日來著しく反ソ的となり各紙はフィンランド兵の勇氣と成功とを賞讃してゐる、ローマでは二日以來ソ聯大使館前で民衆の示威運動が行はれ、四日にはファシスト黨員數千が制服のまゝで學生團の示威行進に加はり反ソ氣勢をあげた、半官通信インフォルマチオニ・デル・ジョルノによると若しソ聯がバルカンで事を起せばイタリーの勢力範圍侵害と解し斷乎たる行動に出るであらうと述べ、ムッソリーニ首相の「バルカンへソ聯を入れるな」といふ決意は牢固たるものがあるといはれてゐる

經濟產業施策討議

省次長會議あす開會

省次長打合會は七日より二日間に亙り總理官邸に於て中央側より星野總務長官以下各部次長、各司長、總務廳各處長、地方側より新京特別市副市長を始め十八省次長參集の上開催されるが今次の打合會は經濟、產業關係に限定し、從來の會議形式を打破各々膝を交へての懇談の形を採り緊密なる打合せをなさんとするもので

▽第一日は午前九時半開會星野總務長官の挨拶あつて後產業部關係諸施策に關し柏村產業部次長說明をなし第一日を產業部關係に限定之が討議懇談する

▽第二日は松田經濟部次長の經濟部關係諸施策に關しての說明あり次いで經濟部關係諸問題に關し協議懇談をなす筈で協議範圍を右兩部門にのみ限定し、刻下地方省民の最大關心事たる特產專管制度米穀統制政策等物動計畫に基く諸問題につき之が直接運營當事者たる各司長參加の下に行はれるが今次の打合會は直に中央地方の間に餘すところなく意見の交換を盡し中央、地方を通して緊密一體の下に圓滑なる諸政の運營を圖らんとするもので之が成果は期待すべきものがある、なほ六日午前九時半から次長室で薄田、谷兩次長と柏村、松田兩次長、神田企畫處長、杜地方處長等參集して下打合せが行はれる

女聲に聞惚れる

電波の大砲に敵一齊射擊中止

【中條山脈○○第一線にて五日發國通】夏縣東方高地の峻嶮に據つて重慶政府のデマ放送に踊らされ抗日の迷夢より覺めず徒らに無益な抵抗を續けてゐる中央軍第四十七師の將兵に對して新しく國際情勢、新中央政府樹立、東亞新秩序の建設等正しい知識を吹込みこれによつて日華提携の實を一日も早く擧げやらうと○○部隊では中條山脈大包圍殲滅戰の進展に呼應して去る二日よりマイクを通じて敵に呼びかける奇拔なる新戰術を採用

大擴聲器を敵蟠居地帶のまつたゞ中に進出させて一聲の下に粉碎するとゝもに男女宣撫員と蓄音機をもつて聲の宣撫を行つてゐるが面白い現象は男の聲がマイクから流れて出ると一齊射擊するが「吾々は君等の慰問に來てゐるのだ、正しい世界の情勢の聲を聞け」と蓄音機で芝居のレコードをかけたり若い綺麗な女の聲で歌を歌つたり新事態の認識是正を呼びかけると不思議に一發の銃聲もせず靜かに聽耳を立てゝ居り

これがため今や敵陣營内には動搖の色が漸次濃化し血腥い砲聲に代る和かなスピーカーの放列は着々として豫期の效果を擧げてゐる

全滿領事會議

けふから開催

駐滿日本大使館では梅津大使、三浦參事官新任後の初顔合せを兼ねて最近の對ソ關係の新情勢に對處するため六、七日の兩日軍司令部講堂にて全滿領事會議を開催することゝなつた、同會議には梅津大使、三浦參事官兼新京總領事、成田大使館書記官、瀧山琿春領事外全滿各地駐在領事全部出席特に本省から派遣された土田東亞局第一課長、岩田、中村兩事務官及び滿洲國側より外務局田代次長、尾形參事官等も列席して協議懇談を行ふことになつた

なほ會議日程左の如し

△第一日（六日）午前十時開會梅津大使の訓示、三浦參事官及び土田課長の訓示があり、午後各領事の管内報告あつて後協議懇談を行ふ

△第二日（七日）本省側、大使館當局及び各領事相互の事務打合せ

三選温

民生振興政策の强調につれて、醫科大學や開拓醫學院の開學、病院の新設が着々として計畫され實施されるといふことは、まことに喜ばしいことである▼康德六年四月現在における滿洲國の醫師數は、洋醫が三千六百七十一人、齒科醫が五百十六人、漢醫が一萬八千三百八十九人だといふ▼即ち全部ひつくるめて二萬二千六百七十六人のお醫者樣があるわけで、これを三千八百餘萬人の國民にわり當てると、人口一萬人當り五・九〇人となる▼いま諸外國（一九三二年の國際聯盟年報に依る）の例を見るとドイツは醫師數六萬三千八百七十八人で、人口一萬人に對し九・八九人、フランスは二萬四千五百十三人で同じく六・八九人、日本は五萬六千八十八人で七・五五人の割合、アメリカは醫師數十七萬八千六百六十五人で人口一萬人當り一四・三〇人となつてゐる▼その他小國で人口當り醫師數の多いところを拾つてみるとギリシアの一〇・六五人、ノルウエーの一〇・〇七人、デンマルクの一一・一八人、スヰスの一二・五〇人等である▼反對に醫師數の少い國をあげれば今は國亡びて山河存するポーランドの四・二二人、リトアニアの三・九〇人及び正に國家存亡の急に直面せるフィンランドの三・八九人等がある▼そこでこの外形上の數字だけ見ればわが滿洲國もお醫者樣の對人口比率はさう低いといふ事もない、立派な保健國家ぢやないかといふことになりさうだが、二萬三千人足らずの醫師の八割强といふものは漢醫であつて、今日の知識社會ではこれらの漢醫をば、殆んど舊世紀の遺物であるかの如く考へる人が多いし、また事實あまり信用をおくことの出來ないような藪井先生も少くないだらうから、統計數字からのみ判斷するわけにはゆかない▼むしろ今日の常識では、滿洲國では著しく醫者が不足してゐるので、ことに今後開拓民がどし／＼入植するにつれて、その方面だけでも醫師の需要が年々三百人にも及ぶし國内一般の需要も四百人位にはなるから、少くとも毎年七百人位のお醫者が新しく入用になるといはれてゐるのだ▼この場合の醫師はもちろん洋醫のことで、漢法醫のことは何等念頭におかれてゐないようだ▼ところで、洋醫の養成供給もより結構であるが、いはゆる漢醫といふものは全然無價値としてすておいてよいものであらうか？▼今年の協和會全聯の議題にも漢醫に關する要望－主として現在の漢醫の指導再訓練及び未登錄者の認可要望があつたと思ふが、この問題は、單に現在の漢醫の素質とか價値だけに限ることなく、遠く廣く漢法そのものを愼重に考慮善處するを賢明とすると信ずる▼日本では明治十七年に醫師法を制定施行するに際し、徹底的に洋醫主義に依り漢法を葬つてしまつたのだがその結果は果してどうか？▼滿洲國で漢醫法を公布して、ともかく漢醫を認めたことは、たとひ政策上の見地からであつて、醫學的見地からでなかつたとしても、實に聰明なやり方であつたといはねばならない▲今や西洋の本場において從來の醫學－ユダヤ的分析醫學のゆきつまりが叫ばれ「東洋醫道」に注目する傾向が起りつゝあるのだ▼われ／＼は東洋傳統の醫道の眞價値を反省し再認識すべきである▼西洋の分析的、科學的醫學をすてよといふのではない▼東洋古來の全體的、生活體驗的醫道の上に立脚しつゝ科學的研究を應用し驅使する樣にありたいと思ふのだ▼本來の漢醫法はいはゞ哲學的であり道義的實踐道であるに反し、西洋醫法は科學的であり部分的技術的なのだ▼滿洲醫道の確立をこの國の永久の幸福のために切望にたへない。

溫古集

拜啓、益々御清適、殊に新京日日をも御經營の樣子、文章報國に御邁進の程此上共に一層御精進祈上候

御惠贈の「滿洲人の少女」其他萬謝、殊に「滿洲人の少女」は滿洲評論社發行「滿洲農村雜話」と共に陣中餘暇再讀。當地固より人情習慣地形風土異なるもの有之候へども、聖戰の一翼として日夜部下將兵と共に地と汗とに治安の確立、宣撫提携に所謂大地に即し任處に服しつゝある小官として、感懷一層深きもの有之候。

殊に人文比較的高く、五千年の治亂興亡の跡あり且つは近世、排日・容共の温床たりし當方面の實相に接し、東亞新秩序建設の大願成就のためには、一層皇國・皇軍・皇民意識を顯揚し、邪智奸辯を正義・信義・至誠を以て化育せる以外妙法無之、政・經目前の小利打算にては到底目的を達し得ざるべく、又焦躁は禁物、耐久綿々たる努力を第一義とすべく、要は大陸發展の敎化を根本と致すべき義と確信仕候

爰に、内にありては青少年の敎育、外に於ても亦青少年の民心獲得こそ「急がば廻れ瀨田のからはし」の所懷を抱く次第。さるにても、此見地に於て滿洲國協和青少年團の發達こそ大なる試金石、否、礎石と存じ居り候。開拓青年も此協和哲理に徹し始めて皇道精神の眞髓を發揮するものといふべく、やがて日滿支の提携、延て萬邦協和・皇道宣布を庶幾し得るものと存候

近來敍上の信念を一層强め、聊か部隊長として大陸の一角に微力を盡しをり候。陣歿將兵に對しては唯合掌敬弔、其靈勳を汚さざらんことを是れ祈るのみに候。右まで。

草々

十二月一日　片倉生

（城島宛）

ソ聯、聯盟總會出席を拒否

【モスクワ四日發國通】聯盟の總會招集に對するソ聯政府の態度が注目されてゐる折柄モロトフ・ソ聯外務人民委員は四日アブノール聯盟事務總長に對しソ聯は出席を拒否する旨通告した

人事往來

▲森哲三氏（齊々哈爾法院次長）五日來京國際ホテル
▲鮎川義介氏（滿業總裁）同
▲芝本正次郎氏（文具店）同
▲中富貫之氏（滿航經理部長）同國都ホテル
▲平岡文吉氏（國華ゴム）同
▲伊丹治一氏（同）同
▲吉田榮藏氏（アーデンス商會）同
▲闞傳氏（吉林省長）同滿蒙ホテル
▲高橋協氏（滿洲モーター專務）同
▲秋田穰氏（昭和製鋼研究所長）同
▲宇佐美貞義氏（東洋タイヤ監事）同富士屋旅館
▲湯口紀一郎氏（貿易商）同大都ホテル
▲三竿瀧三郎氏（材木商）同
▲大町北造氏（帝國自動車常務）同
▲山口舔三氏（貿易商）同蓬萊ホテル
▲藤原龍輔氏（滿洲計器）同
▲佐久間悦雄氏（日本工業部長）同
▲豐原幸雄氏（黑河日本領事館員）同三國ホテル
▲八木一郎氏（木材商）同
▲岩倉大輔氏（製材商）同
▲武谷傳氏（滿洲杉山公司）同
▲石黑寬治氏（協和會）同
▲西島正倫氏（滿鐵總局經理課長）ヤマトホテル
▲河内由藏氏（黑河省次長）同
▲瀧山靖次郎氏（綏芬河領事）同
▲瀧澤一馬氏（工業學校長）同櫻ホテル
▲鯉沼兵士郎氏（撫順市長）同

社説　滿洲國と歴史尊重

滿洲に於ける歴史の尊重といふことについて少しく考へてみたい。それは何も舊來のもの悉くを重んずるといふやうな保守主義的な見地からではなくして、新しい滿洲の建設のためにわれらは立たしめるために舊きものを正しく見、これを理解することが肝要だとするからなのである。

新しい建設が急速に進展するとき、ともすると舊來の傳統の良きもの、文化的遺産さへもが忘れ去られるといふやうな弊害が何處にでもあるやうである。そしてそれは一つには、新しい建設の仕事に當る人々が若く氣鋭な人々であるといふことにも原因してゐるやうである。また當面の仕事が餘りにも多忙であつて、それに追はれるといふこともあると考へられる。しかしその狀態を放任して置いてはいけないであらう。われわれは舊きものゝ中にも良きものを見出し、これを今後に利用し活用することを考へねばならぬ筈である。

文化の發展といふことは、何も天から降るやうに唐突に成るものではない。それは歴史の傳統の上に立ち、その遺産たるものを正しく承け繼ぎそしてこれを發展せしめてこそ成るのである。飛躍とは見えても、それは理由なき飛躍ではない。事物發展の儼たる動かすべからざる法則はそこに存してゐる。

斯うした歴史の尊重といふことは、また國民の悅服を得るためにも極めて肝要なものなのである。地と血といふやうなことがよく言はれる。國土についてこれを見るが、白山黑水、何れもが此處に住んだわれらの先人より受け繼ぎ來つたものなのである。血について言ふか、今日われらが誇らかに東亞諸民族の協同を唱へ得るのも、まさにわれらがわれらの往古の歴史に於いて同じやうな民族的協同の經驗を持ち、それに成功してゐるからこそ、それが出來るのではないか。この民族の血液の中にひそむ先人の遺産を誰しも忘れることは出來ぬのである。

ところで現代滿洲國に於いて、果して、このやうな歴史尊重の實があがつてゐるであらうか。われわれは諸種の事實についてこれを考へるとき、些か不安を感ぜざるを得ぬのではあるまいか。成る程、古書の出版などはあつた。博物館も存してはゐる。歴史教育も行はれてはゐる。だがもつと一般的に、社會的に、さうした考へ方が徹底するやうな方法を講ずべきではあるまいか。

新生の福建方面に 地方政權樹立か
建國軍運動に呼應

【香港四日發國通】當地華僑聯合會に達した情報によれば福建軍政界の有力者たる林知淵は汪精衛派の和平運動並に黃大偉將軍の建國精神に呼應し林國庚、林忠その他福建における支那海軍の關係者等を糾合して福建に新地方政權樹立の運動を開始したと傳へられる、なほ福建省南部の土民軍は續々黃大偉將軍の建國軍に參加しつゝあるといはれる

江南殘敵掃蕩戰

【漢口四日發國通】中支戰線に於けるわが軍は昨今急激に襲來した寒氣を冒して各地に蠢動する敗殘兵及び敵匪等に對し攻擊の手を緩めず連日連夜血のにじむ活動を續けてゐるが、二日江南に於いて次の如き戰果を上げた

一、二日早曉〇〇部隊の一部は南昌東南方廿五キロ河刀岳に於いて蠢動中の敵百五師第三百十三旅に屬する大集團につるべ射ちの重砲火を浴せこれを潰滅せしめた

二、わが部隊は二日湖南最北部羊郎司南方九キロ附近に於いて有力なる敵匪と遭遇これを追擊南方に潰走せしめた

三、わが岩崎部隊は二日夕刻粤漢線永安東西地區を有力なる敵遊擊隊が後退中との情報を得たので直ちに出動夜陰に乘じてこれに近迫猛擊を加へ殲滅した

[illegible]

廣西の結束破る
白崇禧非難の的！

【香港四日發國通】西南行營主任白崇禧は重慶政府並に軍事委員會に對し十二月一日附をもつて南寧失陷の責任に鑑み本兼職一切を辭任したき旨電請した、一方各地出動中の廣西軍將領は省境を護り得ず日本軍をして容易に廣西省內に進入せしめた白崇禧の戰略的失敗に對して猛烈な非難を浴せてをり、從來事每に白崇禧と意見を異にしてゐた浙江省主席黃紹雄も最近中央に電請して南寧喪失の責任を問ひ嚴正なる軍律の下に賞罰を明かにせよと迫りつゝあり、一方廣西省內各方面でも徒らに中央の命にこれ從つて焦土抗戰に狂奔し、廣西軍主力を邊隙の地に派して鄕土防衛の大任を忘れた白崇禧の態度に痛く失望してをり各將領は偏へに李宗仁の歸還を希望してゐる

かくて廣西派將領間の結束破れて白崇禧の威信は地に墜ちた感がある、更に廣西省內軍政當局は省內隨所の大小軍事據點に對する連日のわが猛爆に惱まされてをり、省民の抗戰熱意もがた落ちになつたといはれる

安準に大軍集結
蔣、雲南乘取り目指す

【香港四日發國通】龍雲の頑强なる反對にも拘らず蔣介石の雲南乘取り工作はますく積極的となり二日國防最高委員會は左の任命を發表した

滇桂(雲南廣西)邊防總司令＝陳誠、滇桂邊防副司令＝黃珙翔

右邊防軍編制の表面上の目的は南寧陷落後危機に直面した雲南、廣西兩省邊區の防備强化のため中央軍を雲南土着軍と協力せしめると言ふにあるが眞の目的は邊防軍の武力を以て雲南の中央化を强行せんとするにあること明瞭で現に陳誠は自ら貴陽に乘込み、同地に滇桂邊防總司令部を設置して采配を振りつゝある、また黃珙翔麾下の第廿六集團軍主力も既に貴陽を通過し貴陽、雲南街道上の要衝安準を中心とする貴州省西部に集結中でその先鋒は既に省境へ百キロの安南に達してゐると言はれ雲南貴州省境地方は極度の緊張を呈してゐる

龍雲に內政部長就任を慫慂

【香港四日發國通】蔣介石は大軍を動かして雲南を武力壓迫する一方龍雲に對しては至急重慶に來り內政部長兼軍事委員會委員に就任すべきを慫慂してゐる重慶政府は龍雲の內政部長就任をみれば現內政部長周鍾岳を雲南省政府主席に任命する意向である

南寧南方で 安田中尉等自爆

【上海四日發國通】去る十一月廿二日南寧攻略戰に於て陸軍部隊の鬱江渡河作戰に協力しつゝあつた海軍航空隊の安田馨中尉、淺川正光一空曹、井手繁男二空曹、加治屋三郎三空曹の四勇士は南寧南方の釆村附近で頑强に抵抗を續ける敵部隊を反覆銃擊中不幸敵彈を受け同日午後二時十四分愛機を敵陣に突入せしめ壯烈な戰死を遂げたが、遺骸はまもなく同陣地に突入これを占領した陸軍迫田部隊の將士により收容された

沁縣共產軍覆滅

【太原四日發國通】設樂部隊は一日沁縣北々東二十五キロの榎則谷附近にありし共產軍約百五十を攻擊これを覆滅した

敵屍三十八、鹵獲小銃六その他多數

太湖西殘敵討伐

【杭州四日發國通】河野討

臨時軍事費審議
明年度總豫算と併行

【東京國通】臨時軍事費特別會計追加豫算は事變勃發以來殆んど每議會總豫算に比しその提出時期が遲延しこれがため議會に於ける豫算審議に不便を來し充分の論議が盡されない憾みがあつたが、青木藏相は明年度豫算の編成に當つては物資勞務、資金三計畫の圓滿なる調和を圖り豫算の編成と施行との關係を合理化するためには明年度總豫算と臨時軍事費とを同時に併せ審議檢討する必要ありとの建前を持し、來る豫算閣議に於ては明年度一般豫算のみならず臨時軍事費特別會計豫算追加案(大體昭和十五年三月乃至昭和十六年二月の期間に要する經費)に於ても大體の外貌を併せ查定することになつた、この結果第七十五議會に於ては臨時軍事費追加豫算の提出期は遲れるともその大綱に關しては再開劈頭の藏相演說或は豫算總會の初頭に於て藏相より說明される豫定である

久原、中島派 議席處理紛糾
各派交涉會物分れ

【東京國通】四日午前十時より開かれた衆議院各派交涉會に於て果然分裂狀態にある政友會の久原、中島兩派を如何に取扱ふべきかが問題となり種々論議を重ねたが、遂に物別れとなつて更に各派交涉會を開催して協議することゝなつた、即ち中島派は二日百廿二名所屬の議員名簿を小山議長に提出、同じく久原派も中島派所屬議員を含む百六十九名(その名簿中には山崎達之輔氏一派の舊昭和會系議員の復黨を認めてゐない)の所屬議員名簿を三日小山議長に提出した、よつてこれを如何に處理するかゞ四日の各派交涉會に於て問題となり久原派代表の植原、深澤、中島派を代表する土倉、川島、河野、小高の各交涉委員の間に論議を重ねたが遂に結論を見るに至らず結局小山議長より「意見のあるところは大體諒承した而して殘るところは兩派から提出された名簿を如何に處理するかにあるがこれは衆議院事務局に於て事務に支障のないやう處理する方法を研究した上で極めて近い機會に再び交涉會を開いて協議したい」旨を述べ正午散會した

再開日繰上中止

【東京國通】休會明け期日繰上げに就ては前內閣時代衆議院制度調査會答申の趣旨を尊重して一月十日に改正來る第七十五議會よりこれを實行することゝし現內閣もこの方針を繼承して豫算案の作成、その他諸般の準備を進めて來たが、明年度豫算の編成が軍部豫算を始め文部省豫算の復活折衝に時日を要し議會に提出する豫算書の作成が間に合はず明年一月廿日以前に議會を再開すること不可能となつたので近く政府より貴、衆兩院に交涉し七十五議會再開日の繰上げを中止することゝなつた

開發會社を設立
北支石炭生產强化へ

[illegible]

東亞經濟懇談會晩餐會

[illegible]

傷病兵に見舞金

[illegible]

改組に先行して 日滿商事が增資
來る廿六日臨時總會

二千萬圓增資とゝもに特殊會社に改組せられることになつてゐる日滿商事では本月廿五、六日頃までには會社法の公布を見ることゝなつたので本月十五日現株式一千萬圓のうち未拂込金四百萬圓を徵收し翌十六日臨時總會を開き二千萬圓增資の件を附議、廿二日增資分の第一回拂込四分の一を徵收するが、會社法の公布を待つて廿六日頃再び臨時總會を開き會社法公布に關する報告ならびに特殊會社に改組の件を附議することゝなつた、同社では既に今回の特殊會社改組を豫定して根本的に會社機構の改革を行つてゐるので社長、取締の名稱を理事長、理事と改める以外は機構上の改革は行はないことになつてゐる

政府出資金決定

政府では日滿商事の二千萬圓增資を機に特殊法人に變格することゝなり、會社法につき審議を行つてゐるが四日の國務院會議で

日滿商事の滿鐵所有株一%、滿炭、昭和製鋼所、本溪湖煤鐵所有全株式の政府肩替り並に同社增資分に對する政府引受株式第一回拂込に要する七百五十萬圓の六年度各特別會計第二準備金より支出の件

を可決した、日滿商事の舊株式の各社引受は滿鐵五十一%、滿炭四十%、本溪湖二%、昭和製鋼所七%となつてゐるので今回の肩替りで政府滿鐵各五十%となるわけである

最高利率の引下決定

政府は康德四年十二月制定にかゝる利息制限に據る貸付最高利率年二割は高率に過ぎて民生を壓迫し、產業開發を阻害する虞あり、なほ購買力の調整、物價昂騰[illegible]

より施行することゝなつた即ち消費貸借の利息を

1、五百圓未滿は一割八分以下

2、五百圓以上五千圓未滿は年一割六分以下

3、元本五千圓以上は年一割四分以下

4、金錢以外の代替消費貸借利息は年一割八分以下

と改正することゝなつた、但し本改正施行前の貸借は從來の規定に據らしめ施行後のものより本法に據らしめることゝなるものである

アジア防共懇談會 "委員會"と改名
明春滿洲で第二回會合

【東京國通】滿洲、蒙古、支那、フイリツピンの各代表を招き去る十月末より東京、大阪、京城に開かれたアジア防共懇談會は新京を最後に全日程を終つたが席上決議されたこの懇談會を恒久的機關として常置し日本に總本部を、參加各國にそれぞれ本部を置くことにつき四日午後總裁小笠原長生子、事務總長山本忠興博士、麥刈、竹下兩大將及び興亞院、外務省、陸軍省、滿洲國大使館等の各關係官が參集協議の結果「アジア防共委員會」と改名して常置し、第二回懇談會を來春四、五月頃滿洲に開催することに決定した

酪農獎勵に乘出し
實施方針決る

政府はかねて農業經營の合理化、農家經濟の改善のため酪農獎勵について考慮中のところこの程酪農獎勵方針を大要左の如く決定、近く實施することになつた

一、舊北鐵沿線、三河地方を中心にホルスタイン、ロシヤ改良種の乳牛を主に獎勵し漸次全滿に及ぼしめる

一、之が方法としては乳牛の供給、種牛牧場の設置、酪農合作社の設置をなし飼料の增產、調整を圖り廐肥の生產並に利用を圖る

一、之が獎勵のため酪農獎勵規則を新たに制定する

一、酪農獎勵のため(1)種乳牛の共同利用(2)乳牛の購入資金、乳牛の貸付(3)牛舍建設の融資(4)共同搾乳場、製酪場の設置、牛乳の共同處理、製品の販賣(5)飼料その他器具の配給(6)經營指導等につき政府は積極的に援助をなす

なほ之が實施方法として新に酪農指導農家、模範農村の設置をなし之と併行して牧場並に乳製工場の設置を獎勵し防疫の徹底を期することになつた

獨、羅鐵道連絡
新協定成立す

【ブカレスト四日發國通】ソ聯領ポーランドを通過してドイツ、ルーマニア兩國を結ぶ鐵道連絡に關しドイツ、ソ聯、ルーマニア關係三國代表は過般來ルーマニアのチエルナウツチに於て交涉を進めてゐたが、三日新協定の成立を見た、新協定によりチエルナウツチ、レンベルグ(ソ聯領ポーランド)を結ぶ鐵道が開通、更にレンブルグに於てドイツの鐵道と連絡することゝなつてゐるが右鐵道はドイツ、ルーマニア兩國間の物資輸送路として重視されてゐる

本年度起債額 二十億を突破
各社拂込中旬發表

【東京國通】本年度起債界は四日條件發表の滿洲國事業公債を以て年內發行の幕を閉ぢたが本年起債關係の拂込總額は主要銘柄のみで二十億六千八百萬圓(前年末發表當初拂込みの三口四千五百萬圓を含む)で二十億關門を突破更にこの中滿洲國關係起債は滿鐵債二億三千萬圓を合せ八億三千四百萬圓に達し起債市場に於ける比重は益々大を加へて居る而して前月以來短資市場の强調に加へて起債界も漸く氣もたれ氣分が强く市場の消化力稍々減退を示したゝめ起債當局は最初の起債計畫に變更を加へ滿洲電業(千五百萬圓)滿洲重工業(四千萬圓)等の發行は明春に繰延べられたが尙未曾有の好成績を收めたものと云へやう、又起債當局としては市場情勢を靜觀し本月中旬各社の拂込みを發表する意向であるが盞明けの銘柄としては日發債を始め前記滿洲重工業、滿洲電業等が擧げられてゐる

第三次滿洲國公債發行條件決定

【東京國通】滿洲國第三次日本通貨公債(第一回)の發行條件は四日興銀から左の如く發表された、今回發行總額五千萬圓、中一千萬圓は[illegible]、殘餘四千萬圓は市場から公募する、條件は利率年四分、額面百圓に付き九十九圓七十五錢、期間十三年、拂込は年末金融狀勢を考慮して十二月二十日額

滿洲電化改正

政府では滿洲電化に對する日本側三社の參加を機に同社建設計畫の本格化に備へ會社法の改正を企圖してゐたが四日の國務院會議に同社會社法改正の件を附議可決した、今回の改正で理事三人以內を理事十人以內、監事二人以內を四人以內とし各方面より人材を集めるため新たに會社理事會を設けることゝなつた

小賣業許可制 度組合法制定
商工公會答申案成る

小賣業許可制度、同業組合法制定に關する經濟部諮問について全滿各省商工公會は目下それぞれ答申案を作成、順次新京商工公會を通じて提出されつゝあるが、新京商工公會も亦單獨答申を行ふべく過般同公會商業委員會を開催、答申原案を作成、四日更に職員會を開き、若干の字句修正一部條項削除を行ひ茲に最後的答申案の決定見を近くこれを當局に提出することゝなつた小賣業許可制度については現下の經濟狀勢よりして積極的にその必要性を認め小賣業の範圍は店舖の有無如何に拘らず、更に百貨店、露店、行商人の外料理店、飲食店、理髮、湯屋、銃砲火藥店等をも包含せしめ許可を受けたる際は同業組合加入を條件となすことが希望され、又許可制實施と同時に同組合法、商店、購買組合法の同時制定が要望され消費組合、合作社等の業務制限を行ひ小賣業者の保護助長が要望せられてゐる更に第二項同業組合法制定については左の如く答申される筈

一、必要と認む

一、組合は業種、業態別とし區域は經濟地域を單位とす

一、法人とすること

一、組合事業は(イ)組合員の營業統制(ロ)組合員共同利益增進事業(ハ)組合員營業上の仲裁、調停

一、組合設立は商工公會を經由して認可を求む

一、組合は商工公會々員としてその統制に服す

商工省人事異動

【東京國通】伍堂商相は豫て病氣中の寺尾貿易局長官の辭表を受理すると共に左の如く貿易、燃料兩長官、總務局長以下の人事異動を行ふことに決し五日の閣議に附議正式發令されることゝなつた

任貿易局長官(一等)　燃料局長官　小島新一

任燃料局長官(二等)　總務局長　東榮二

任總務局長心得(三等)　總務局總務課長　椎名悅三郎

物價局總務課長　猪熊信二

命總務局總務課長　燃料局需業課長　鈴木重郎

命物資調整課長　美濃部洋二

命物價局總務課長　吉田悌二郎

命纖維局總務課長兼綿業課長

燃料局總務課長

任燃料局石炭部長　酒井善爾

內務辭令

【東京國通】兵庫縣經濟部長長谷川公一氏の商工省入りに伴ふ內務省人事異動は四日左の如く正式發令された

任兵庫縣書記官(三等)　補經濟部長　岡山縣書記官經濟部長　武政隆一

任岡山縣書記官(三等)　補經濟部長　商工書記官農林書記官　山口喬

商工辭令

【東京國通】

管理局總務課長兼管理局取引課長を命ず　三木秋義

管理局生命保險課長兼務を命ず

兵庫縣書記官　長谷川公一

任物價局事務官(二等)　物價局第一部長を命ず

物價局次長　新倉利廣

免物價局第一部長事務取扱

吉林に工業學校

かねて要望されてゐた吉林市の中等學校設置は、期成委員會の活動の結果、この程省當局より省立工業學校設立の內諾を得たので、期成委員會では大々的に全省民に呼びかけ、校舍敷地に要する卅萬圓の資金募集を開始差當り來年二月假校舍をもつて開校する事になつた、なほ寄附金は人造石油電化をはじめ大工場進出の折柄省民の寄附と相俟つて卅萬圓位は易々たるものであらうと見られてゐる

內藤中將英靈

【東京國通】去る十一月廿五日滿洲で演習中重傷を負ひ六日殉職した故內藤正一中將の英靈はこの程現地における告別式を終へ下關まで出迎へたかずへ未亡人(四一)義弟野田道一中佐等に見護られて四日午前九時五十五分東京驛着帝都へ無言の凱旋をなした

ルイズ女王薨去

【ロンドン三日發國通】イギリス皇帝ジョージ六世の大叔母君ルイズ女王は九十一歲の高齡を以てロンドンで薨去された、女王はヴイクトリヤ女王の長女で一八七一年アーガイル侯に嫁下された方である

商況　五日後場

各地株式市況

●大連株式(期短)　寄付　大引

[illegible]

●奉天株式(短期)

[illegible]

手形交換高(五日)

[illegible]

今年の年賀狀は戰地向けだけを
來る廿日から受付

「年賀狀は戰線へ！」虚禮か、良風か是非の議論も知らぬ氣にまた年賀郵便の時期が巡つて來た、物資節約虚禮廢止の聲に印刷屋と紙屋の算盤が怯えてゐるこの際當の郵政總局の意向と對策を打診すれば「今年も例年通り廿日から廿九日まで年賀狀の特別送達をする事になつてゐて目下着々準備中です」といふのだが、但しこれは年末必ず輻輳する一般郵便物の郵送配達に支障を來さぬための事務上の都合からであつて「こちらから進んで記念切手を發行したり積極的に勸奬するやうなことは出來るだけ愼んでゐます」と附言がある、「國內は最小限の挨拶に止めて出來るだけ戰地に働く方々に出しませう」といふ方針を採つてゐるが滿洲國もこれと同一の步調をとつてゐるもの、いはゞ現地である特殊な土地事情と人口の自然增加の關係から、昨年度の引受七百四十八萬通、配達二百九十萬通、計千三十八萬通より本年度は二割增の引受九百萬通、配達三百五十萬通、計千二百五十萬通といふ相當な數字を豫想してゐる、しかし郵政局開設以來のレコード一昨年（康德四年度）の引受九百七十二萬通、配達五百四萬通餘、計千四百七十四萬通には及ばぬところに時局の反映が見られる、一方滿漢人が慶親には特に喜んで使用する赤色の用紙は郵便規則第二十七條「用紙は白色又は淡色に限る」に反し取扱從業員の眼を刺戟して能率を低下させるとあつて從來は禁じられてゐたものだが、協和精神と習俗尊重の意味で昨年度から交通部令を以て慶親用のみ許されることになつてゐるから赤紙、金文字の御國ぶりを春風に乘せて大いに發揮出來るわけだが、繁忙の歳末更にこの大役を引受ける郵政總局では全滿管理局を通じ集中局と配達局の二つに統制し特別に職員を動員、元旦の最先便には全部「おめでたう」と屆けさせるべく懸命の準備を進めてゐる これについて郵政總局郵務科松岡健一計畫畫股長は語る

賀狀の特別扱ひの趣旨は混雜する年內送達力の必要上からでして虚禮云々の問題とは別のことです どうしても元旦までに內地に屆けるには廿五日までに受付けぬと間に合ひませんのでこれは止むを得ないのです、皆さんもそのお心算で御出しになるのでしたらなるべく早目に御願ひ申します

二重送電單一化
電氣資材を節約

滿洲電氣委員會（滿洲電氣協會內）では產業部の委囑により去る六月廿日以來戰時下著しい不足を告げてゐる電氣事業用資材不足に關する應急對策調査を急いでゐたが、柏村總三委員長（產業部次長）以下各委員の熱心な檢討によりこの程結論に到達、四日產業部に答申した、答申の中心をなすものは二重送電の單一化にあり現在工場倉庫その他に使用される屋內電路は從來百ボルト（電燈用）と二百ボルト（電力用）の場合別に送電してゐたのを二百ボルト線一本により充分双方の送電に役立つことを證明、これにより電線資材を節約して以て他の不足分に補給せんとするものだが、當局の認可あり次第明春匆々から全滿各工場を片端から單一線化する豫定でその活用は期待されてゐる

苦力ドロン

常盤町一ノ一四高僑忠さんは數日前傭入れた苦力熱河生れ劉丙華（二三）が二日忽然と行方を晦したところ、彼處此處から續々と借金の請求やら詐欺に引掛つたと返濟方を申入れて來る始末に四日中央通署へ劉の搜査方を願ひ出た

アマチユアー拳鬪協會設立
來る十日記念大會

在滿各プロ拳鬪の權威者間に擡頭してゐた拳鬪協會の設立機運はこの程漸く機熟して會長に丁鑑修氏を戴き近く呱々の產聲をあげるに至つたが、滿洲は特殊事情の協和的國家でありまた現に在住の拳鬪先輩はプロもアマも一定の職業に就いて居るため、拳鬪を眞の國民體育とするにはアマチユアー拳鬪の普及を先きにすべきであるとして大滿洲アマチユアー拳鬪協會の設立も併立することになり、來る十日午後六時から國都西廣場滿鐵社員倶樂部に於て記念大會を開催し大いに氣勢をあげアマチユアー協會の設立に邁進することになつた、本協會の普及並に指導には在滿の人格及び技術の卓越せる權威者をもつてし將來に於ける滿洲帝國の特技にまで向上發展せしめるとゝもに、指導精神は飽くまで日本武士道精神を根幹とし身心の鍛錬に努めることになつた、またアマチユアー協會の成立擴充の暁には大滿洲拳鬪協會が右協會に合流し一大統制機關としてアマ拳鬪の指導普及に乘出すものと見られるが大滿洲拳鬪協會役員、アマチユアー協會設立委員左の如くである

▲會長丁鑑修▲委員小丸辰巳、熊谷二郎、鈴木幸太郎、千葉六兵衛、皆川憙久治、內藤秘、牧野顯、佐々木壽雄、高橋保房、牟田鍵野博、海老澤淸、秀彥、權泰成、佐々木茂雄

なほ十日の記念試合には丁會長の優勝杯等が寄贈され當日の盛會が豫想される

興亞教育大會出品滿洲紹介映畫

曠古の聖典を祝福する盟邦日本の興亞教育大會に滿洲教育會でも中、小學校教職員約二千名を參加せしめるほか記念映畫として國內教育狀況を撮影した映畫をも携行することになり、近日開催の幹事會で具體的計畫樹立のうへ直ちに撮影に着手することになつた

新京事務局スキー部委員會

體聯新京事務局スキー部では來る八日午後六時から中銀クラブで委員會を開催、役員改選、來年度事業等について協議する

五輪大會中止
動亂の犧牲となる

【ブラッセル三日發國通】I・O・C會長ラツール伯は三日當地において記者團と會見

若しフインランドが對ソ戰鬪のため明年七月のオリンピツク、ヘルシンキ大會を開催することが不可能に陷つた場合は同大會は全く放棄される旨聲明した、また同大會を委讓されたいとのアメリカの申出に對しては歐洲の選手を集めることが殆ど不可能な理由により問題外である

との見解を述べた

故前上等兵兩親に興安櫻を贈る
溫情の下條總裁

【東京國通】子を思ふ切々たる親心に感激して飛行上から故前上等兵を弔ふと共に將軍廟忠靈塔でチエリーと母の手になる淚の手紙を投下英靈を慰めた溫情の人下條賞勳局總裁が三日歸京したので總裁の歸京を待ち構へてゐた同上等兵の兩親前留太郎氏（五六）同佳子夫人（四五）が早速四日午前十一時和田倉門の賞勳局を訪れ我が子に對する總裁の溫情を謝すれば下條總裁は

○○部隊長から戰死の模樣を詳細聞きました、九月六日午後零時五十分敵イ十五、イ十六型が襲來し機關銃で肩を負傷されたが、約四十分間應射、自分の射つた彈丸が「敵機に命中したかどうか」と叫びつゝ實に壯烈なる戰死をとげられたとのことでした

と戰死の狀況を語り現地で採取して來た興安櫻を兩親に贈ると兩親は櫻を捧げ持ち「こんなにして戴きましてもう何と申上げて良いか……」と感激の淚を抑へ乍

宮澤・小山田兩氏のお土產談

【東京國通】皇軍の激戰地ノモンハンの戰蹟をはじめ北支、蒙疆方面を空路二旬にわたつて視察した陸軍省政務次官宮澤胤勇、同參與官小山田義孝の兩氏は語り盡せぬ感激をお土產に四日午前七時半東京驛着列車で歸京した以下兩氏の視察談

私達は新京から哈爾濱、ノモンハン、ハンダガヤ、海拉爾、奉天、北京、張家口と實に九千餘キロにわたり飛行機を利用、空から皇軍死鬪の跡を視察して來た、ノモンハン、ハンダガヤ方面を飛んだ時は丁度零下二十七度といふ寒さだつたが茫漠たる草原に縱横無盡に掘り返された兩軍の塹壕が判然りみえた、戰爭の第一段階は全く土木工事だなと思つたが併しあれだけの廣い草原によくもあんなに澤山の壕を掘り返したもので全く人間業とは考へられなかつた これで私達はノモンハン事件を思考する態度を一變させられた、停戰協定が行はれた地帶は彼我兩軍とも引揚げて兵隊の姿は見られなかつたが、停戰協定地帶の兩翼にはソ聯軍が出張してゐるのが見られた、私達が歸つた翌日には四五寸の雪が積つたといふことだつたが、何うしてあんなところで煖をとるのだらう、負傷者の飛行機輸送は非常に成功し前線から飛行機で後方の病院に送られた殆ど皆が助かつたといふことだ、北支の支那人は大きな眼で日本の態度を見守つてゐる目先のことだけでなしに廿年、卅年さきのことを考へてゐる、天津の水害は日本租界が眞先に六十萬袋の土囊を周圍に積み上げ百七十臺のポンプで租界の水を汲み出し英佛租界の水びたしを尻目に四日後には砂ぼこりをあげて自動車が走つたのでこれには支那人もあつと驚き日本人の偉さに感服したといふことだ、新秩序の建設はまづ理論より實際の力をどしどし示して行かねばならぬと思つた

錫慰問班長
明月溝で殉職
けふ追悼大會擧行

宗敎及び社會事業團體慰問のため協和會中央本部ならびに滿洲中央社會事業聯合會から派遣された班長錫聘三氏以下慰問班の一行は去る十月上旬新京を出發以來各地の慰問に大童の活躍を續けつゝあつたところ錫班長は不幸にも去る十一月廿日明月溝附近で尊い殉職を遂げたので協和會中央本部中央社會事業聯合會ならびに滿洲全國善勸戒煙酒總會共同主催で六日午後一時から協和會館に同氏の追悼大會を行ふこととなつた

和製リンドバーク事件

【大邱國通】戰慄と獵奇を織る和製リンドバーク事件が大邱市で發生した、犯人は十七歳の少年で髑髏に劍を交叉したマークを朱で認めた脅迫文を持ち十歳の少年を誘拐して慘殺の上、四回にわたつて脅迫し、大邱市民を戰慄せしめた事件で搜査關係から新聞記事の揭載を禁止し所轄大邱署では永田署長指揮の下に搜査に着手事件發生以來十七日目の三日午前六時犯人を逮捕するに至つた

被害者は大邱市北通六七大邱釀造場支配人白英若氏で誘拐されたのは同人の長男南山小學校三年生白奎鉉（一〇）で、去る十一月十七日朝登校時間をねらひ犯人大邱市南山町一一六元滿鮮日報社配達中錫麟（一七）が空氣銃を持つて表に待ちうけ、雀を取りに行かうと稱しておびき出し大邱市坪里洞の丘の中腹のくぼ地で空氣銃で後頭部をなぐりつけて慘殺、その場に埋めて自宅に戻り十一月十九日第一回の脅迫文「子供が欲しければ三千圓を用意しておけ、警察に密告すれば子供は直ぐ殺す」とすごい文句をつきつけたが續いて三回にわたり脅迫文並に子供が生きてゐる證據として右足の靴を脫がせて兩親に送り十二月一日の第四回目の脅迫文には「一十二月二日午後六時から六時三十分の間に飛山洞達城公園南側の空地に赤い旗を立てゝ埋めて置け」とあつたので大邱署と連絡をとり勞働者に變裝した警備隊員が附近を警戒し五百圓を指定場所に埋めて犯人の來るのを待つたが遂に現はれず翌三日午後六時頃新聞配達に化けた犯人が埋めた金を掘り出し、立去らんとするのを逮捕追及の結果同人の犯行であることが判明したものである、犯人は大邱南明小學校卒業後新聞配達をしてゐるうち探偵小說に興味を起し今回の犯罪を計畫するに至つたものであるが他に大邱の資產家三名にも白羽の矢を立ててゐた、なほ同人の父親は忠淸北道警察部の刑事をしてゐる

各署道場新設
警官の柔劍道練習

首都警察廳警務科ではかねて柔劍道を武道正科として警察官の體力氣力の涵養につとめてゐるが現在道場を有してゐる警察は中央通署一署のみ殘りは何れも他署の道場を借受けて使用してゐる始末なので同科の肝いりで各署に道場を新設し同時に柔劍道教師、助教師多數を招聘武道の本格的鍊磨を期することになつた

をかしいのは屆主の頭

四日朝中央通署保安係へ出頭した滿映食堂經營者永淵淸次氏が「このスタンプは不屆だから何卒處分して下さい」と丸型ゴム判の鳥居と社を配した相當使ひ古しの新京神社觀光記念スタンプを屆出たが係員がスタンプを小一時間かゝつてひねくりまはしても一向をかしいこともなく思案に餘つて念のため新京神社に電話をかけると同神社では社務所に備付けの件のスタンプが行方不明となり大騷ぎの最中だつたので屆人を再調査するとどうも頭がすこし變な事が判り歳末多忙時に人騷がせなと係員一同お冠りで嚴誡を與へ引取らせた

新奉對抗氷上
新京豫選擧行
十日兒玉公園スケート場で

十七日の新奉對抗氷上競技大會を控へての豫選記錄會は來る十日午前十時から兒玉公園スケート場でスピード、ホツケー、フイギユアの各種目が擧行される

△スピード種目＝男子五百米、千五百米、三千米、五千米、二千米繼走、女子＝五百米、千五百米、千米、三千米、千六百米繼走△賞＝三等迄に賞品を授與す、但し繼走は一等のみとす、△出場種目數＝一人の出場種目數に制限無し

△ホツケー試合方法＝申込數により總當法又は勝殘法とす、△賞＝優勝團體に賞品を授與す

△フイギユア 男女フリースケーテイング

△審判規定 大滿洲帝國氷上競技協會規約による

△申込方法 十二月五日迄に氏名、團體名、出場競技種目明記の上申込むものとす、出場者は申込みと同時に登錄をなすものとす

奉公隊連絡會議

協和義勇奉公隊中央指導連絡會議二日目、分科會議は五日午前九時半協和會中央本部會議室で開催、指導、訓練、動員、庶務、經理等各科目別に協議を行ひ午後二時終了した

農產物第三回收穫高打合せ

產業部では目下第三回農產物收穫豫想調査を實地踏査に基づき集計を急ぎつゝあるが之が詳細なる豫想打合せを行ふため來る六日午前十時軍人會館に全滿農林科長會議を招集し現地側の報告を聞くと共に今後の增產對策等についても打合せを遂げる筈である、第一回豫想に於いては近年にない大增產豫想を示しその後小地域乍ら全滿に亘つて旱害水害のため稍々影響を受け第二回調査（九月一日現在）においては平年作程度の作柄を示したがその後の天候は極めて順調に推移したので大體第二回と大差ないものとみられてゐる

市公署人事

體育保健協會主事 長島滿 任特別市事務官衞生處勤務を命ず

•小林重四郎挨拶來社 七日より帝都キネマに出演する小林重四郎、月澄江の兩優は同キネマ及川宣傳員と共に五日午前挨拶に來社

近く野犬狩

首都警察廳衞生科では狂犬病豫防のため部下各署の衞生係並に市公署衞生處員總動員の監督下に臨時野犬狩員を多數出勤せしめ近く大々的な野犬狩を實施することとなつた

交戰の獨からコンドル機日本へ

【東京國通】大日本航空會社ではこの夏ドイツが世界に誇る四發廿四人乘りコンドル機の購入契約をフオツケ・ウルフ會社と結んでゐたところ歐州大戰勃發のため輸入不能或は製作中止などと傳へられてゐたが、日下歸國中のドイツ國立航空工業聯盟東京駐在カルマン博士から最近航空局へ「コンドル機は現在製作中で來春早々二臺を渡す」旨の快報があつた、なほ購入コン

文武兼備の人
張總理、吳將軍を語る

新東亞建設の途上、惜しくも四日北京に逝いた吳佩孚將軍と往年は奉直戰の砲火の下に相見えた好敵同志であり、今は等しく東亞新秩序建設に重責を帶びて邁進する同志である張景惠國務總理に計報を齎せば暫し感慨に堪へぬかの如く瞑目してゐたが、やがてぽつぽつと吳將軍の思ひ出を語りその人格を稱揚、哀惜の意を述べた

私が吳將軍と始めて會つたのは確か北京で民國九年ごろだつた、そのとき吳將軍が民國六年に今の新京當時の長春に兵隊をつれて駐屯してゐたと聞かされ非常になつかしく思つたことをおぼえてゐる、彼はもとより武人だがまた相當の學者でもあり、中國には稀な高潔な人格者でしかも名將だつた、本年一月末防共救國の旗を揭げて蹶起したときは私も至極同感したので早速手紙をやつたところ、非常に喜んで返事をくれ協力提携を約束して來たが、その後はほんの私的な時候の挨拶を交換したばかりだから、思へばそれが最後の友交となつたわけである、救世憂國の念の厚い將軍はまた中國の一般民衆から大層敬愛されてゐたから大アジア建設に協力の最中に突如逝かれたと聞いてはさぞかし支柱を失つたかのやうに惜んでゐるに相違ない、私としてもよき同志をなくして誠に哀悼に堪へぬと存じてゐる

吳將軍經歷

【北京四日發國通】逝去した吳佩孚將軍は一八七二年山東省蓬萊縣に生れ若年にして軍界に投じ當時淸末の名將聶士成麾下として薰陶を受けた、聶士成死後袁世凱の麾下に入り保定武備學堂に學び卒業後曹錕軍に入り營長、團長として連戰、一九一四年第三師副官長、ついで旅長となり雲南軍を討伐、張勳の復辟軍を北京に攻め、一九一九年第三師長となり、孚威將軍に授けられ一九二〇年直魯豫巡閱副使となり、安直戰爭に大勝して安徽派を驅逐、曹錕を扶けて北京政界に威勢を張つた、この頃から吳將軍の名聲は正に旭日の勢ひを示し奉直戰に勝つて張作霖を關外に逐ひ、孫傳芳、楊森をして福建、四川を攻略、直隷派全盛時代を現出、一九二二年陸軍總長に任ぜられたるも就任せず、その後陸軍上將に昇進、一九二三年曹錕大總統となるや直魯豫巡閱使兼第三師長、一九二四年直魯豫航空總監督を兼ね同年第二奉直戰に際し馮玉祥等の寢返りにより慘敗、直隷派沒落の運命に陷るや天津、上海、漢口を經て河南に入る、一九二五年湖南に退いて再擧を圖り同年孫傳芳奉天討伐軍を起すや討伐軍總司令として武昌に入り北上せんとするも馮玉祥の國民軍に阻まれ、その後馮玉祥を共同の敵とする奉天派および山西派と妥協し國民軍討伐に從事、一九二六年張作霖と會見のため北上し保定に直隷派軍事會議を招集して直隷派の結束を固め奉天軍と協力、馮軍を南口方面に逐ひ奉直合作時代を作つたが同年蔣介石の國民革命軍のため湖南湖北の地盤を侵され直魯豫聯合軍總司令として河南にあつて回復を圖りたるも失敗、一九二七年腹心の部下を率ゐて四川省大竹綏定方面に退いたが、一九三一年廣東派獨立し中央の統一破れるや廿歳の舊部下諸將に擁せられ、一九三二年張學良に迎へられて北京に歸つた、爾來北京に居を構へ悠々自適の生活を續けてゐたが時代はこの巨星の隱棲を許さず、支那事變勃發後中央軍の大敗をみるや救國の念もだし難く全國各層の推挽を受けて遂に出馬の決意を固め本年一月卅一日反共救國のスローガンを高く揭げて綏靖委員會を結成自ら委員長となり腹心の胡統坤氏を開封に送り綏靖軍の結成に努めてゐた、更に先輩唐紹儀氏を扶けて統一政權樹立を圖つたが唐氏暗殺されて志を果さず新中央政權問題起るや軍政の最高峰に擬せられ政權樹立の機迫るにつれ「北方の巨星」の動向が注目されてゐた性剛直淸廉金錢を愛さず妾を蓄へず租界を踏まず、中國稀にみる高潔な人格者として宇內の敬望を集めてゐた

苦心十五年で支那民俗誌出版
永尾龍造氏の刻苦

新東亞建設に當り大陸に國民的關心が昂つてゐる折柄生涯の殆ど大半を大陸に送つた元滿鐵社員元奉天省總務科長永尾龍造氏（五七）は苦心研究三十年輝く成果「支那民俗誌」十三卷一萬頁は外務省文化事業部の後援で近く出版されることになつた、なほ氏は下關市の出身、明治卅八年東亞同文書院を卒業して渡滿、岫巖師範學校創立とゝもに同所で四年間滿人學生に教鞭をとつてゐたが、明治四十一年辭して滿鐵に入社、その後滿洲國誕生とゝもに滿洲國入をし奉天省總務科長となつた人、その永き體驗から日支相互の理解を深めるには支那の土俗習慣を熟知することの必要を痛感し、支那民俗研究を思ひ立つたが、これに關する參考書は支那自身にもなく勿論日本や西歐にもないので、氏は月々俸給を割いて支那人十數名を訓練し土俗風習の調査研究を續け昭和二年頃一度「支那民俗誌」の自費出版を企て第一回「支那正月」を發刊、第二、第三卷は續刊の豫定であつたが資料の不足を感じて斷念、その後更に諸調査を重ねてゐたがこの第一卷限りで絶版となつた民俗誌は畏くも秩父宮殿下が昭和五年御渡滿の御砌り御目を留めさせ給ひ、永尾氏を御宿舍奉天ヤマトホテルの御室に召されて御下問と御激勵の御言葉を賜つたので、氏は大いに感激してこの研究を畢生の事業として集大成する決心を固め昭和十年六月奉天省總務科長を辭して上京、神田駿河臺の日華學會に通つて專心原稿の整理に沒頭することゝなつたが、何分にも廣汎煩雜の支那民族のことゝて原稿が三萬枚以上に上りこれを纏めやうとすればまた資料の不足を發見されるといふ按配で、帝大文學部の東洋史專攻學生、大東文化學院學生等十數名の應援を得てその整理に當つたが同氏のこの研究に感激した元ルーマニア公使蜂谷輝夫氏の肝煎で外務省文化事業部が後援することゝなつて昨年七月原稿整理は一段落を告げ更に同事業部は今春四月支那民俗史刊行會を部內に設けてこの出版をも後援することになつて、明春匆々第一卷が發行される運びとなつたものである、なほ氏は語る【寫眞は民俗誌を整理する永尾氏×印】

支那において日本人のやつてゐるのを見てゐると支那人を餘りにも知らなさ過ぎる、支那のことをもつとよく知つたら六ケ數いことなど言はずに何でもなく解決するのではないのかと思はれることが多いので、この研究に三十年ほど前から乘出しましたが第一に困つた事は參考資料といふものが一つもなかつたことでそれだけにこの度の研究の完成に喜びが大きいわけです、殊に肩の凝らぬやう面白く書いた心算です、この完成は外務省文化事業部、滿鐵が非常に後援下さつた御蔭です、原稿整理のため奉天に家族を殘し四年間東京でやもめ暮しをやり一日も休んだことはありません

兒童の作品
火事
東光校四年生　中條良子

夕方近く、私はお友達と運動をして遊んでゐた時のこと。

向ふの屋根ごしに、モクモクと眞黑い煙が出て來た私は初は白光寮の煙突からだらうと思つて居たが、だんだんにすごくなつてしまつて、はじめて火事だと言ふことがわかつた。

そのうちに、大勢の人達がいきをハアハアいはせながらかけて來る。私はあまり驚いたので口でものが言へなく、お友達をよばうと思つてもたゞ手まねきが出來るばかりだつた。しばらくしてやつと「火事、火事」と大きな聲でどなつた。

近くのおぢさんや、をばさんも出て來た。お母さんが顔を出して

「えつ火事、早く電話で知らせて下さい。」

とおつしやつた。お母さんも大變あはてゝ居る。あたりまへだ、家の方から見ると郵政局からだとしか見えないからだ。弟は半分泣きかけて家へはいつてしまつた。私も足がふるへて動けなくなつてしまつた。そこへおうちのをばちやんが來た。お台所をかたづけて來たらしく、前かけで手をふいてゐる。をばちやんも「火事、ちよつとかどまでいつてみませう。」と皆がかたまつてワイワイさはいで居る方をゆびさされました。私はこはごはいつてみました。

ところが郵政局と思つたはまちがひで、滿人部落でした。火はものすごい音を立てゝもえ廣がつてゐます眞赤なほのほをあげてもえてゐます。「早く消防隊が來るといゝがなあ。」と思つてゐましたが、なかなか來さうもありません。よそのをぢさん方は

「滿洲は何でもまんまんでーだからだめだね。」

と言つて居ます。お隣のをばさんと家のをばちやんがお話してゐます。私はをばちやんに「向ふへ行かう」と言つて引つぱつて行つた、向ふは大へんな人だかりです。

私は火事を見るのが生れて初めてなのです。今度で火事はほんとにおそろしいものだと言ふことがわかりました。

消防隊は火事のほとんど消えた頃來ました。

あくる日學校へ行く時にもみんな昨日の火事の事を口口に話合つて居ました。

鍋蓋の必要
有ると無いとでは燃料がかうも違ふ

鍋の蓋はゴミやホコリの侵入を防ぐものとばかり考へるのは間違ひで、この蓋の有無が燃料經濟にも相當な影響を與へるものです、今一立半入れの**アルミ鍋に**一立の水を入れ、これをお湯に沸すときのことを調べて見ますと、只今の水道水のつめたさでは、蓋のあるとき、時間で約五分、瓦斯要五十立を要します（これは五回實驗の平均で以下同樣）

ところが蓋を初めつから取り去つて實驗してみますと時間五分四十秒、ガス要五十五・五リットルといふことになります即ち蓋の無いときは十一パーセント、一割以上損といふことになります、それから

沸騰し出すと一層損でとかく蓋を取り放ししてしまひますと液のふきこぼれる心配がないので、どうしても焔を必要以上大きくし勝ちで從つて無駄も多くなります、そこでこの時を調べて見ましたが沸騰後も相變らず無關心にガスを出し放しておきますと、普通のガスコンロでは一分間約十立宛を費します、蓋をして沸騰させますと液をこぼさないやうにする必要上、焔を極端に小さくしなければなりませんので、ガスの必要量はずつと少く一分間二・二立、即ち初めの出し放しの焔の四分の一以下で沸騰することになります、御承知のやうに沸騰さへ續けば鍋の中の溫度は焔の大小に拘らず攝氏百度をキチンと保ちそれ以上にも以下にもなりません

料理の事情が許すなら沸騰したら焔を小さくし、且出來るだけ蓋を利用し燃料經濟を圖るべきです焔を大きくしても固いものは早く柔らかくなりません小さい焔で氣長く煮る方がガスも經濟ですし、料理もうまく作ることが出來ます

美容メモ
こな白粉を選ぶ時には

粉白粉はキメの細かい輕いものほど良質だと思ひ込んでゐる人が多いやうですがそれは一概には言へないことです、まづ粉白粉を綺麗につけたならば御自分の肌を考へて下さい、そして脂肪性の皮膚の方には比較的キメの荒い粉白粉がよくつきます、反對に荒れ性の人でしたら多少脂肪性のクリームを下地にして、キメの細かい粉白粉を用ひると綺麗につきます、これを知らずに反對に用ふると永持ちがせず不經濟です

子供の鼻詰り
原因は三種あつて手當も夫々違ふ

小さい子供の鼻のツマツタのは如何にも苦しさうですあれはどういふ原因からくるものでせうか？又どういふ風に癒したらよろしいでせうか？先生にお聞きてし見ました

△……子供の鼻のツマルのは原因が三つあります、第一に鼻かぜで、寒くなるにつれて起り易いものです、このやうな場合は冷い風を當てないやうにし、蒸しタオルを鼻の上にのせると樂になります、熱のあるやうな場合はフエナセチンを少量與へると間もなく快癒します

△……第二には鼻カゼから起る一時的なものでなく、先天性黴毒によつてたえず鼻のつまるものです、これは勿論驅黴療法による以外方法はありませんが、絶えずワセリンを鼻腔へぬつてやつたり、鼻の分泌物を取除いてやれば多少は樂になります、やつぱり根治するには驅黴療法でなければなりません、一時的のならともかくも……

△……第三は先天性上顎畸型によつて鼻のつまるものです、一般に乳兒は上顎が鼻腔の方に彎曲してゐるので大人に比較して非常に鼻腔が狹いものです、これが極端に狹いものは鼻が始終ツマツて呼吸が苦しいものです、生長するにつれて或程度治りますが畸型的なものは勿論手術をした方が宜いのです

世界に誇る東洋美術の粹
廣く紹介

熱河の離宮をはじめ滿洲固有文化を顯彰、これを國內外に宣傳紹介すると共に郷土愛護精神を涵養し民衆教化の資料たらしむべく、民生部ではさきに史蹟名勝保存協會を組織各縣市旗毎にこれが保存會を設立、五ケ年計畫で國內各地の古蹟名勝記念物の調査研究を實施中のところ今年末で大體の調査を完了したので、愈よ新年度からはお國自慢の熱河離宮を初めとし門外不出の東洋藝術の珍品並びに名勝を廣く海外に紹介のため各種出版物の發刊や名勝、古蹟の修理開放を計畫してゐる、尙何れも藝術界世紀の扉ともいふこれが調査收錄の發刊や各種美術品の開陳は世界美術家垂涎の的だけにその調査發表は非常な期待がかけられてゐる

國境珍聞
安東のマダム新義州で買物

一寸買物に外出する奧樣連が鴨綠江を渡つて新義州に健脚を伸ばし、お正月の晴着や反物類の出張仕入れを活潑にはじめた爲めすつかり客足を奪はれた安東市內の吳服商さんはこれが改革に頭痛鉢卷の態である、これは新義州方面のものが安東より三割方安く、加へて綿織物類の輸出禁止の爲め安東では御金を山程積んでも全然入手出來ないため在安婦人連が土曜日毎に河向ふへ進出、少量宛風呂敷包で輸入するのに因するものだが、人氣のないがらんとした店內に堆積された吳服類を見やりながら某店主は語る

實に困ります、これが時節柄自肅し高いものを遠慮してゐるといふ話なら格別ですが、御客樣でありながら素通りされるのには困りますこちらのものは稅金がかかるため仕入れた値が高くなるので同業者とも種々相談してをりますが、種々の立場を考慮に入れ然るべき處置をして戴ける日を待つのみです

母を訪ふ記（十）
錦ケ丘高女旅行團

十一月四日午後六時三十分神戸港發、五日午前十時五十分別府着、別府花菱旅館宿泊、六日午前七時四十五分別府發

私達の旅程も昨日の大阪神戸見學で日本本島の見學を終へ、最後のコース九州へ移りました。一同一名の事故者も無く皆元氣で愉快に見學を續けて居ります。

四日午後六時廿分六甲摩耶の綾嶮を背にした日本一の貿易港、扇港神戸を後に大阪商船自慢の遊覽船「すみれ丸」の客となりました。

六時ともなれば夕もやが訪づれ、しとしとと降る雨に電燈の光もぼんやりと見えてゐます。甲板に出て雨にしめつた手すりに寄りかゝりお見送りの方々と名殘りを惜しんでゐる間にドラの音が遠くから近くに響いて來ます。いよいよ本州もお別れ、皆無我夢中でサヨナラの言葉を叫びつゝ白いハンカチを振つてゐました。僕多の面白かつた印象を後にしてすみれ丸は靜かに岸壁を離れて行きます。

瀨戸內海、それは幾度か私達の胸に描かれた美しい內海だつたでせう。狹長な海面上に數知れない大小の島と、或ひは島上をおほふ綠林、むらがる白帆、渦卷く急潮等が一體となり瀨戸內海が形づくられ、今やその名は世界的なものとなつてゐるのです。私共はこうした絶景の美を目の前にしながら、闇に包まれてしまつて親しく觀ることが出來なかつたことは非常に殘念なことでした。

お船の中はすしづめの盛況、皆甲板に出て眞暗な中に唯遙か彼方に見える灯のまたたきを見乍ら歌を歌つてゐました。丁度船は「淡路島かよふ千鳥のなく聲に幾夜ねざめぬ須磨の關守」の歌に古ぐから名高い淡路島の沖を通つてゐました。十時頃になると一人、二人と甲板を離れむさくるしい船室へ入り次第に寢ついてしまひました。此の船のコースはこれから高松、高濱の二ケ所によつて別府に行くので、私達な瀨戸內海の物語を夢の中に描き乍ら一夜を過したのでした。高濱を過ぎて暫くした頃、やつと東の空がほのぼのと明けそめて來ました。今日はよいお天氣です。國立公園の名殘りを止めて或ひは近くに或ひは遠くに綠なす島、紫にけむる島、かすかにその美を味はつたのでした。やがて十時になり、お伊勢參りをすませたと云ふ熊本の小學生や、九州見學をすると云ふ女學生など、その他多くの團體を乘せたすみれ丸は波靜かな內海を無事渡つて、近代的設備にその名を誇る別府の港へ入りました。

九州見學第一歩、世界的に名高い溫泉町別府の見學に先立ち、私達は陸軍病院を訪れ、此の度の聖戰で尊くも傷つかれた傷病兵勇士の方々を親しくおなぐさめし御慰問致して參りました

私達の心をこめた兵隊さんへの贈り物を手に手に持つて、山の手の病院へ向ひます。南國の太陽はじりじりと照りつけ誰の顔も汗ばんでゐました。病院の前の淸らかな庭には熱帶樹がつややかと繁り合ひ、いかにも南國的な趣が見られます私達は正門前に、整列し、今井團長が院內に入りマイクを通して傷つかれた兵隊さん方へお見舞の言葉、感謝の辭を申し上げ、御慰問に參つたことをお知らせしたのでした。その間に鈴木院長よりいろいろ御叮嚀な御挨拶や御說明を受け、病室にいらつしやる兵隊さん方をお見舞致しました。兵隊さん方は色々な設備の整つた、日光のさんさんとさし込む明るいこの院內ではがらかに毎日を送つてゐらつしやる樣にお見受け致しました。陸の勇士、空の勇士それぞれはなばなしい御活躍振を目に浮べながら「お大事に」とお部屋で寢ころつしやる兵隊さんへ、通りかかりの兵隊さんへ、親しくお見舞の言葉をおかけして感激に滿ちたこの御慰問を終りました。

風光明眉な別府灣の前に建つてゐる旅館の緣側で美しい景色を眺めながら、お丼をいただいてしばらくゆつくりした後、有名な溫泉町見學、地獄めぐりをこわごわ、否勇敢に出かけました。バスに分乘して旅館繁華街を通りぬけ、先づ坊主地獄へ、その名の通りガスの上る度毎に粘土が坊主頭のやうに圓くボカッボカッと上つて來ます。時をのがさずお藥賣りのおぢさんは私達をつかまへてはニキビの特効藥だと賣りつけます。かまど地獄はかまどの下からお湯が出て來て、そのお湯で御飯が出來たり、おまんじゆうが蒸されたりするのでこの名がつけられたのだそうです。海地獄は畏れ多くも天皇陛下もおほめになられた地獄で、溫度は攝氏二百十度、その色が眞つ靑で海の如く地獄ながらその美しさに打たれました八幡地獄はお湯が何十尺もの高い所までふき上げられその壯觀はすごいものでした。血の池地獄は道路工事中で行きませんでしたが、これで無事地獄の見學も終りました。この分では私達は先づ先づ極樂行きは確かです。歸りのバスの中でバスガールが歌をうたつてくれました、その美聲にひかれてゐる內に旅館前に運ばれてゐました。

夕食前に待望の入浴、溫泉風呂へ、砂風呂使用禁止の立ふだをうらめしげに見て、方お湯のへ入りました少し靑味がゝつた下のすき通る、タイル張りの感じのよいお風呂に、旅のつかれを休めるために、ゆつくりと入りました。夕食後は夜の別府の町へ思ひ思ひに出て行きました。繪の樣に美しい別府灣には夕もやが立ちこめて次第に暗くなつて行きます。繁華な夜の町を歩いて歸つて來て緣側に腰を下し遠くを眺めた時、そのいざり火の海と空との別れ目が分らぬ程にちらついてゐる光景も又美しいものでした。

いよいよ明日は最後のコース阿蘇へ、うれしい夢を結びつゝ私達は溫泉町の情緒に少からず醉つて、十時すぎ次々と眠りに入りました。

六日朝早く私達は溫泉町別府に別れを告げ、阿蘇への車上の人となりました。（脇坂滿洲子記）

ラヂオ　けふの番組
六日【水曜日】【新京放送局 M・T・C・Y】

朝

七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、〇〇（大連）初等滿洲語講座
八、二五（大連）朝の音樂（レコード）管絃樂 僧侶の戰時行進曲（メンデルスゾーン作曲）ナイラワルツ（ドリーブ作曲）圓舞曲「ファウスト」（グノー作曲）戴冠式行進曲（マイヤーベール作曲）
九、〇〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、四五（新京）建國體操
一〇、〇〇（大連）經濟市況
一〇、〇五（新京）幼兒の時間（レコード）童謠玩具箱
一〇、二〇（大連）母の時間「戰爭と母」三浦滋子
一〇、四五（新京）家庭メモ
一〇、五〇（新京）料理獻立
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（新京）晝の演藝、三曲「今小町」三絃小松雅榮、箏荻原雅曠、尺八山本続山
〇、二〇（大連）歌謠曲（レコード）出征兵士を送る歌（永田絃次郎、長門美保、ほか）
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（奉・連）經濟市況
二、一〇（奉・連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東・新）ニュース 氣象通報
四、四〇（奉・連）經濟市況
五、二〇（新京）ニュース 演藝「餅語」

夕

六、〇〇（東京）子供の時間、對話（ラヂオ理科教室）小さな天文臺、鈴木敬信
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（奉天）講演「民族醫學強化の醫學」滿洲醫科大學々長、醫學博士守中淸
七、〇〇（東・新）ニュース 告知事項……滿洲國際放送……
七、二九（新京）國內アナウンス
七、三〇（伯林）講演「最近のヨーロッパ情勢を語る」獨逸國駐劄滿洲國公使呂宜文（日語通譯）獨逸國駐劄滿洲國公使館參事官、江原綱一
八、〇〇（大阪）浪花節「吹雪を衝いて」宮川松安
八、三〇（東京）ラヂオ時局讀本「世界の動きと日本」
八、四〇（東京）ニュース
演藝
九、〇〇（東京）連續ラヂオ小說 吉野葛（谷崎潤一郎原作、依田義賢脚色、宮城道雄作曲）私（阪東簑助）津村（深見泰三）物語（和田信賢）音樂（宮城道雄）演出（溝口健二）
九、三九（東・新）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

学藝

戯曲　日出（八十九）

曹禺作　大内隆雄譯

潘　もし……もし……僕は金八爺と話したいんだよ何だつて?今誰にも會はないつて?だがねえ……もし、もし……君に聞くがねえ、敬之君、八爺はこの二、三日の間に何か公債買はなかつたかね?…何?……賣つたが、みんなは賣らん?……おい……もし……もし、君、聞いてくれよ、聞いてくれよ!(電話器をたゝくが答がない、受話器を置く)この犬奴、あいつ女の家で喰ひ醉つてやがる、今頃になつて俺に話すなんて。(蹙然と椅子の上に倒れる)

編　四爺、新聞社の張さんが……。

潘　お前、あつちへ行け、もう此處に來て騷がんでくれ。

李　しかし、經理——

潘　(咆哮する)行けつたら!(李石淸に對して)行けつてんだ!(李、中央の戸から出て行く、白露に向ひ)君あつちへ行つてて、僕を休ませてくれ。

露　月亭さん、あなた——

潘　(手を振り)まああつちで連中の相手をしてくれたまへ、もうその內みな歸るんだらう。

(白露、右の戸から出て行く。)

潘　(ぶらぶら行つたり來たりする、腰を卸し立ち上り立ち上つてはまた坐る)あゝ、仕方がない、こいつは本當に困つた、金八の奴わざと俺を困らせてゐるんだ。

(中央の戸を大きくノックする。)

潘　(びつくりして)誰?誰?

李　私ですよ、經理、自分で俐巧者と考へてる人間が又來たんですよ。

潘　君——君は又何しに來たんだね?

李　私は、私達二人で話したらいゝと思つたんですよ。

潘　まだ何を話すんだね?

李　何でもないんですよ、まあ三等品が今一等品はどんな狀態か見に來たんですよ。

潘　(とび上り)馬鹿!

李　(眉をしかめ)馬鹿はあなたですよ!

潘　こゝから出て行け!

李　(荒い聲を出し)あなたが出て行つたらいいですよ!(稍々間、冷笑)あなたはもう私達が平等だつてことを忘れてゐますよ。

潘　(怒りを收め腰を卸す)君氣をつけたまへ、そんな言ひ方は君氣を付けたまへ。

李　私は氣を付ける要はありませんよ、私の家には澤山の金があるぢやなし私のポケットには質札があるばかりです、私は何も氣を付ける要はないんです。

潘　だがね、君を訴へる人間があるかも知れんからね、「この貧乏人!」

李　貧乏人。そりや正しいです。だがあなたは先づ自分の事を考へたがいいでせうよ。潘經理。私は公債も持たない、私は何千何萬といふ公債は持たない。私に金を出せと迫る人間はゐない、私は何も入つて來た金を直ぐ人に取られるなんてことを見たことはない。潘經理あなたは自分の事を可哀さうに思ふがいいんです。あなたは貧乏人以下ですあなたはまるでルンペンだ。私は貧乏なだけだ。あなたはそれ以上ルンペンだ、あなたは命まで取られますぜ。(辛辣に)おう、あなたは俐巧振つてる人間に信用の講釋をしましたね、でも今度は人があなたに信用の講釋をするでせうよ、あなたが信用を說かんでも人が信用を說きますよ、あなたは賢いつもりでせうが人はもつとあなたより賢いと思つてゐますよ。あなたは私を罵つた、あなたは私を苦しめた!あなたは私を侮辱した、おおあなたは私を見下げた!(大聲に)今私はとても愉快ですよ!私はとても好い氣持ですよ!私は明日の朝早くあなたの銀行に行つて現金に替えますよあなたが金を出せない所をこの眼で見ませう!また八圓、十圓つていふあの貧乏な連中を見ませう(低聲、惡意で)そしてあなたを見下す、あなたを侮辱する、あなたを苦しめる、あなたを罵る、あなたを呪ふ——おお、連中はあなたを切りさいなむ、あなたをやつつける!ひどいめに合す、連中はあなたの皮膚を剝ぐ、あなたの眼を抉る!あなたはもう死ぬ外ない、死ぬ以外に連中に對する途はない!死だけがあなたの逃れる途だ!

新年文藝懸賞募集

規定

一、創作(小說、戯曲)四百字詰原稿紙二十五枚以內
一等　三十圓　一名
二等　十圓　二名
選外佳作　本紙三ケ月
分贈呈券

一、詩(題隨意一人一篇)
一等　十圓　一名
二等　五圓　一名
三等　三圓　一名
選外佳作　本紙一ケ月
分贈呈券

一、短歌(一人三首以內題隨意)
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月
分贈呈券

一、俳句(一人三句以內題隨意)
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月
分贈呈券

一、川柳(一人三句以內題隨意)
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月
分贈呈券

銓衡
各種とも本社內に設置の詮衡委員會に於て入選を決する。

注意
短歌、俳句、川柳はハガキを使用されたい。創作、詩は原稿紙。原稿は返戾せず送り先は「新京永樂町四ノ一新京日日新聞社編輯局」宛、なほ封筒表皮、ハガキは裏面に「新年文藝應募原稿」及び作品種別を朱書のこと、郵稅不足のものは受附けず

締切
康德六年十二月二十日(同日着最後便を以て嚴に締切る)

發表
康德七年(昭和十五年)一月一日本紙上、なほ賞金其他は發表後一ケ月を經て送付す

創作　秋（二）

鮎川若彦

「しかし私は山田にも同情はするね、彼だつてとても努力はしてたやうだつた。さうだな、滿洲人と日本人との結婚なんて言ふと口では簡單だけどね……」

「……でもほんとにあなたにはずゐ分御迷惑ばかりおかけしましたわね許してね」

彼女はやつぱり手を重ねたまゝで言ふのだつた。

「いやすまないのはこつちだ。あんたの將來についてはどんな責任でも持たねばならぬと思つてゐます」

「いや!そんなことといつたら、私そんなには思つてゐませんわ、だつてほら、私もあなたがとても好きだつたのだつたし、それにこばめばこばめたのよ、わたしあなたにそんな責任を負はせたくないの、私一生涯そつと玉手箱のやうに胸にしまつて置きますわ」

彼女はさう言つて、私の指を無心にもてあそぶのだつた。

「木の芽がやつと出て來るね」

馬車から下りて、彼女と肩を並べながら、話をそらした私に

「ほんと、木の芽が出るよろこびは滿洲にすんだ人間でなくつてはね……」

「うん……」

「でも今年はつまらないのね……」

彼女は私と並んであるくと僅かにひくゝみえる位高かつた。丈は五尺三寸位はあつたらうか。黒い洋服がすきで、いつも眞赤なベレー帽を頭にかついでゐた。

「この間本讀んでみたら、たゞ人が行きすり合ふだけでも何十萬人に一人と言ふ程の、因緣によつてだと書いてありましたわ、愛されたり愛したりすると言ふ事が、どんなに深い因緣によることかと、妙に老人くさいことですけれど考へたりしましたの」

「えらいことしつてるね」

「さうよ、こゝでは本でも讀まなくちや、それにあなたは行つてしまふんでせう本と手紙だけ」

彼女は、組みあはせた指の手を振りふり言ふのだつた。

錦州神社の參拜をすませて、枯草の岡を下りると、窓をあけて陸軍病院の看護婦さん達が傷兵を助けて、朝の體操をしてゐるのがみえた。

「私も一そ、戰地篤志看護婦にでもならうかしら」

ひとりごとのやうに言つたりもした。

「あんたは身體が强健なのが何よりですね。私なんか健康に自信がないのだし外のものもそう强くはなし」

「奧さんは內地におかへりになつてもやつぱり良くないの」

「やつぱり同じさ、第一滿洲なんかに來たのが間違つてゐたのだつたね、あの身體で……」

「……」

「これから浮氣心など起さないで、良い夫に、良い父さんになつてあげて下さいね」

「……」

「フミのたつた一つのおねがひだわ」

ふと淚ぐんで言つたりした。

いよいよ汽車が出るやうになつても、フミは仲々來てはくれなかつた。

「最後に一目みたい」

さう思つて見送りの人々への挨拶もうはのそらでのびあがりのびあがり大馬路や中央大街の方を目でさがしたが遂に來てはくれなかつた。

汽車がいよいよ動き出した。

「お大切に」

「お氣嫌よう」

汽車はやがて速度を加へた、ふと錦州神社の岡に目をうつすと、フミらしい女の姿が一人しよんぼり立つてゐるのがみえた。私は急に窓の戸をあけようとしたが、二重窓の汽車の窓はあかなかつた。私は硝子戸に頰をあてゝいつまでも立つてゐる女の影をみつめてゐた。

あれから五ケ月、ふいにフミが大連に出て來ると言ふのだ。私が轉じてから間もなくフミも滿炭に轉じて阜新に行つた。

「泣いた顏をみられたくないと思つたものですから神社の丘に立つて一人存分泣いてお送りしました」

と轉任挨拶の葉書のはしにかいてくれたフミだつた。

「あゝフミが來る」

私はとうとう眠れないまゝに起きあがつた。窓の外にはもう電車のひゞきが亂れ豆腐屋のラッパの音が官舍街の小路から小路を縫ふてゐた。どこからか雞さへもしきりになき出して來た。

ひとりごと

西谷正夫

情に燃えた淸淨な瞳
「でも誰か優しい友だちが欲しいわ」
小さい鐘がなりつゞけ
ふつとみ上げたこの少女の
ひとりごとである
淨らかな濕つぽいうるんだ
情熱である
病んで
慄へてゐる靑い愁の旱魃で
ある
そのやうに羞かむではだめ
みんなやさしい森のニムフ
よ
たとへあのひとがあなたの
足に接吻しても
羞かむではだめ
ふつと淚ぐんだ戀に飢えた
少女のひとりごとである。

奇蹟

あなたの頰は白い柘榴の實
のやうですね。と。
これはむかしの甘い囁きで
したね。
みどりの草とそして秋のみ
のりの黄な束の中で抱き合
つてあなたよりも遙かに美
しい自然を樂しみ
ひとつに絡み合ふ雙の手を
物わびしく思ふのです
新鮮に花咲いた生命
これをあなたは思ひだして
下さい
白アネモネの泡沫に似た儚
ない燃えるやうな動悸に
それがどれだけの價値を持
つことでせうか。
紫色に海はざわめき
紅唇の華奢な美少女の頸に
ひしと接吻け
むかしあなたが愛らしかつ
た奇蹟を思ふのです。
あなたのための靜かな辯疎
であり忘れられた豐麗な靑
春の馨りなのでしやうか

煙撃欄

一特徴

高見順「如何なる星の下に」(「文藝」連載)

この小說もすでに連載十回に及んだ。その割りに一向發展せぬが、そこが高見順の高見順たるところかも知れん。

淺草の中に最も淺草的なものを探してゐる作者なのであらう。色々と現はれて來る人物は仲々に面白いが、小說の主人公の女出入りが少々うるさくて、鑑賞の妨げになる。これも高見順の高見順たるところであらうか。

小說の人物は仲々に濶達自在なのだが、作者は反對にだまりこくり苦虫を嚙みつぶしたやうな恰好をしてゐるのではあるまいか。これもまた高見順的か?(御垣衞士)

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△興亞經濟時報(十一月二十八日號)「小麥增產奬勵の一考察」「小麥粉專賣實施に就て」「田中鐵三郎素描」等(哈爾濱、興亞經濟時報社、四十五錢)
△興亞資料月報(十一月號)「戰時下福建の表情」「支那文藝通訊運動に就て」その他上海赫司克而路安寧里十九、興亞硏究會、五十錢)
△新滿洲(十二月號)內容漸次充實されて來たのを見る(新京、滿洲圖書株式會社、二角)
△滿洲文話會通信(二七號)紫藤貞一郎「ベストの文學」町原幸二「片眼」その他書評、文化文藝ニュース等(滿洲文話會)
△協和(十一月十五日號)
△海(十一月號)(大阪商船會社)
△滿洲經濟情報(十一月號)(日滿實業協會滿洲支部)
△發明の滿洲(十一月號)(新京、滿洲發明協會)
△綠十字(五四號)(大連、綠十字會)
△滿洲體育(三號)馬場光雄「滿洲とスキー」「滿鮮對抗競技大會」その他(滿洲體育聯盟、三十錢)

家庭醫學

どんな子供が冬に弱いか

筋肉と胃腸の鍛錬を第一に

「ウチの子供は男の癖に冬になるとまるで一日中お炬燵にあたつてゐるんですから困ります」

「私の所は又お轉婆で始終怪我ばかりして困ります」

何方も困りものでせうが、同じゐるなら怪我をする位の方がよろしい。伸びる力がモリモリと溢ち溢れて居ればこその御愛嬌です。御婆達の折角大切な着物を滅茶滅茶にされるのも困りものですが……

子供は風の子

で、冬の子供はどしどし戸外へ出て跳ね廻らなければ駄目です。健康な子供は寒風に當つても容易に風邪を引かず、引いても直ぐ癒りますが、弱い子供は部屋の中にゐて火鉢にかぢりついてゐても風邪を引きます。斯う云ふ子供の多くは皮膚の弱い生まれつき腺病質の子供で、皮膚に光澤がなくザラザラしてゐて、顔色も蒼白で、その上外界の刺戟に敏感な爲めに少し寒い風に當ると顔色が急に蒼ざめ、毛孔が立つて鳥肌になりぶるぶる慄へ出しますが、反對に寒い所から暖かい部屋に入ると、顔が急に紅潮し頻りに汗ばみます。又、餘り寒くない初冬の頃とか氣候の變り目などに直ぐ扁桃腺を腫らし咽喉をいため、發熱、咳嗽を催す子供がありますが、これは淋巴腺體質と云つて、扁桃腺は平素でも大抵腫れて困り、場合によつては醫師の診察を受けて肥大してゐる扁桃腺を摘出して貰つた方がよろしいでせう。

呼吸器の弱い

子供は、冷い風に當ると直ぐ風邪を引き易く、鼻汁を出し、咽喉や氣管支の粘膜に容易に炎症を起したり、硬變したりします。斯う云ふ子供は氣管支カタルから肺炎になり易く、又冬の間絶えずこんな病氣を繰返します。此れは滲出性體質と云つて、肥り過ぎてゐたり、皮膚が爛れ易かつたり、濕疹が出來易い體質の子供に多く、成るべく暖かい土地に轉地させ又は夏の間に、身體を丈夫にするやうに努めなければなりません。

冬は一般に身體の機能が旺盛になるのですが、特に筋肉と胃腸はその力を強めますから、冬こそ筋肉を鍛へて健康な身體を作りあげ、又丈夫な胃腸にする事に心掛けるべき好季です。即ち、子供には努めて戸外の運動や遊戯を奨勵して筋肉を鍛へ、又食物も時には多少消化の困難な硬いものを與へたり、子供の欲しがるまゝに食べさせて

胃腸の抵抗力

を作る事が大切です。尤も皮膚の鍛錬は寒くなつて始めるのは却つて悪結果を齎らせますから注意を要します。以上の訓練を施しつゝ、一方、複合榮養劑酵素劑若素(わかもと)を與へれば効果は一層完全なものとなりませう。此の藥は、蛋白質を強め、抵抗力を強化する働きが最も著しく成分は榮養劑酵母菌及びアスペルギルスと云ふ微生物からなつてゐて、消化をよくするビタミンBを濃厚に含み、又子供の發育素として有力なリヂン、ヒスチヂン、骨格や歯を強めるカルシウム、燐等を豊富に含有してゐますから發育は極めて自然的に向上し

抵抗力も増進

され、體質を改造する特長ある小兒保健劑として、一般家庭や小兒科の先生方に賞用されてゐます。

漫談三題

健康寸言　漫談家　大辻司郎

◇

胃腸が弱かつた僕は、若素(わかもと)で助かつたデス。それから僕の河童は、眞黒毛で、房々と靡いて、をるデス。友達等は、髪降りロースや、禿上りになるのに、不公平な病、それが全然若素(わかもと)で救はれたのでありました。こぐつと、頭の髪の毛が出て來たです。この論法で行くと、胃腸藥の若素(わかもと)は毛ス。これは、太鼓判をおして提灯を持つて良いデス。」

×

七十五の親父は、僕が深夜に土産に持つて歸る、鯛壽司を完全にぱくついて、翌朝けろりとしてゐます。尤も、毛髪藥を兼ねてゐると世間に發表したいものです。な話だと苦情を申込むのです。中には、染めてゐるんだらうと、嫉むものもあるんですから、毛は、兎角五月蠅い世の中です。

×

僕に三人の子供があります、麻疹、次に苦しめられたのは胃腸、孫や母親の胃腸の番人は專ら若素(わかもと)がやつてゐます。

◇

中支戰線で、實際に聞いた實話です。

×

○○部隊には、澤山の驢馬が働いてゐるんです。この驢馬がふらふらに疲れて倒れました。慰問袋から發見した若素(わかもと)の小瓶一本、飲ませたら、なんとこれ效、翌朝は、元氣に、ニッコリ笑つたといふ話デス。

×

僕が證人で、この話の折紙を附けます。

輕視され易い子供のお辨當

食慾をそゝるやうな調理法が大切

家庭における榮養食に就ては最近相當の關心が持たれて來たやうですが、その割に稍もすれば輕んじられ勝ちなのは、小學兒童のお辨當であります。即ち、兒童が携行するお辨當の量と質とに就て調査して見ますと、完全なのは百人中廿人乃至廿五人で後は皆落第點と云ふ。大切な第二の國民の保健上誠に芳ばしくない結果を得てゐます。お母様方の種々な家事の煩はしさや、朝の忙しさに紛れての仕儀でもありませうが、此れが子供に偏僻を

發育盛り

來せる原因となるのです。お辨當の主食である飯の事は別に云ふ必要はなく、問題は副食物の點にあるのですが、唯一品のおかずだけで、それも手數の掛らない事を第一として子供の嗜好と云ふ事を少しも考慮して居ないものが大部分を占めてゐること、或はその反對に子供の好きだと云ふものを毎日々々同じ様に用ひてゐること此の二點が最も缺點としてあげられてゐます。子供の好きでない副食物の場合に食事が進まないのは當然の事で、從つてさうでなくとも榮養價の不足してゐる辨當を更にその一部分を殘すといふ結果になり、榮養上大變な害を招く事はいふまでもありません。子供は成長しつゝあるのですから、大人に比べて

澤山な榮

養分を攝らなければならないので、辨當の量なども比較的多くしなければなりませんが、辨當は家庭で攝る食事と違つて汁類を用ひる事が出來ず、且つその種類も精々二種位しか詰め合はせが出來ないので、どうしても特に子供の食慾をそゝり美味しく食べられるやうに、調理法にも種々な工夫が施へられるべきで、なほ少量でも榮養分に富んだ副食物を作つてやるやうにしなければなりません。と云つて決して贅澤な費用のかゝるものを用ひる必要は無く、例へば肉と野菜、魚と海藻と云ふ風に、二種類のなるべく異つた榮養素を含有してゐるものを取り合はせ、しかも

子供の眼

を樂しませるやうに調理して頂きたいのです。又子供の榮養不良の原因の大半は偏食によつて起るのですから、同一副食物を續け様に用ひさせるが如きは特に控へなければならぬ事は勿論で、同時に子供の榮養劑として定評のある若素(わかもと)を與へる事が望まれます。それは、此の藥が持つビタミンB、アミノ酸、グリコーゲン、カルシウム等の豐富な榮養素が、子供の發育を促進させると同時に、榮養の均衡を保つて身體の機能を旺盛にするからで、勿論

偏食の害

も免れるし、一般抵抗力の子供の胃腸を實質から強化する效があります。此れを錠劑で活用と云ひますが、その強力な消化酵素を含んでゐますから、食物の消化吸收を圓滑にし榮養化を促進するので、お辨當によつて起る榮養缺如は完全に補はれると云つて決して過言ではありません。

この若素(わかもと)は東京芝公園、わかもと本舗榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から三百錠入、二七〇五入等が一日分僅々五、六錢(小兒には二、三錢)の廉價で提供されてゐます。御近所の藥局、中華民國の各藥藥店で取次販賣してをります。

このお値段で……

生鮮食料品の標準價格貼示

生鮮食料品のお買物は日々の小賣標準價格で＝新京市内の吉野町、豐樂路、永春路東大橋の各小賣市場では全滿各都市に魁け五日から一齊に生鮮食料品の小賣標準値段を表示した、これは中央卸賣市場でセリ落されたその日その日の卸し値段に小賣商人の利潤を加算したもので、從來の變動甚しい價格に惱まされた奥さん達の困惑を解消させやうと云ふ市公署實業科の斡旋によるものである

五日午後市内の各市場では早くも野菜や鮮魚類に「これより安くも高くも賣りならぬ」と云ふ標準値段を貼りつけて鯛百グラム七錢、鯵十錢、鮒十一錢、大根百グラム三錢、山芋六錢、人蔘二錢と云つた具合でお客を待つてゐる、お客の奥さん達に買ひ心地を尋ねると「これなら何處で買つてもおんなじでとても安心ですわ」と好感をもつて迎へられ賣り手の方も無駄な駆引や値切られる心配がなくなつて商賣が捗ると云つた按配で良い評判だつた、尚八日からは毎日午前十時廿分の家庭の時間に引續いて標準價格のラヂオ放送が開始され公正な賣買の完璧を期することゝなつてゐる【寫眞は貼り出された標準値段表】

張り切る バリカンサービス

二十五日以降 營業時間無制限

物資節約、自肅自戒の掛け聲と共に暮れ行く年の瀬は慌しく迫つて來る、そして歳末狂躁曲は日一日と高潮しつゝあるが、理髪店にも歳末情景は描かれゴール間近の書入れ時に對する對策並に來る輝やかしいお正月への準備も既に出來上つた 即ち年末二十五日以降は普通營業時間九時半を變しお客の利便を圖つて時間に無制限と言ふ張り切つたバリカンサービス その變り年明けた正月は元旦から三日までの三日間並に旗日の五日は全休、四日は午後五時まで六日から普通と決定した

圖書配給に意外！統制破り

利幅の太い洋書は丸善が配給獨占

奇怪な密約に滿配關係大狼狽

難航に難航を續けて來た滿洲圖書配給會社も業者の悲痛な叫びを外に國策遂行の大旆をかざして遂に年内に設立とまでこぎつけ設立後業者の狀態をも考慮し既報業者代表の懇請せる組合の存續並利率の增加等十項に亘り多少の讓歩を以つて該問題も落着したかの樣に見られてゐるが死活の岐路に立てる業者は最後までも生活權擁護の叫びを放つてゐる折柄端しなくも「滿配」設立に關し同會社設立は合理的國策遂行であるや否や疑念を生ずるが如き問題が表面化さるゝに至つた

一方國策遂行の爲めならばと泣寢入の業者側も內地の一營利會社が滿配以外に堂々と利率の多いものだけを營業する事を若し政府が內諾を與へたとすれば奇怪至極なことであり、延いては滿配は何んの爲めにあるかと疑念を懷かしむるに至り書籍業組合は俄然硬化するに至つた

即ち滿配が開業する日を目睫にして、七百五十萬圓の資本を擁せる丸善株式會社が輸入圖書中最も利幅の太い洋書の配給を滿配より切離し之を獨專せんと企圖しその具體化か滿配の監督關係にある政府筋と密約が結ばれたと見られ右を察知した滿配關係者を周章狼狽せしめてゐる、問題の核心である丸善の滿洲乘出しの原因は從來日滿兩國に外國圖書の輸入販賣を主として行つて居たが近時洋書の輸入制限で內地に於ける營業を縮壓されその上重要なる滿洲販路を滿配に取られては全面的に營業不振に墜る事を惧れたもので、同會社東京本社支配人伊藤四郎氏及び仙台支店長、大阪支店地方課長等が先月廿日來滿上京し內外圖書の配給一元化を企圖する滿配より、洋書切離しを政府筋に猛運動を開始し滿洲に於ける洋書販賣權の獨專並びに新たに年額二百萬圓のクレジット成立を要求、これに對し政府筋では內諾した模樣で近く具體的行動に移るものと見られてゐる

かゝる事態を察知した滿配側は會社設立の趣旨は內外圖書配給を一元化する目的で、內地圖書配給によつて缺損する營業を利幅の太い即ち四割五分乃至三割の利幅のある洋書輸入も以て右缺損を補はんとする意圖を持てるところ、一營利會社の併立に依つて同社設立の趣旨たる一元的配給が不能となることは勿論開業後の營業も必然的に成り立たなくなるので丸善並びに政府一部の行動を注視してゐる

一般の雜誌も統制外に置け

內地取次業者も猛反對

尚又一方一般雜誌を從來一手に配給して來た內地の四大取次側では 今回洋書は從來丸善が獨專的配給を行つて居た事を理由に滿配よりこれを切離し單獨營業を政府が認むると云ふ樣なことになれば一般雜誌も又我々が從來より一手に取扱つて居り從つて雜誌も當然滿配より切離し我々に營業さすべきではないか、先に滿洲圖書會社との口約を破棄せねばなるまいとしてゐる

かくて滿洲文化普及促進の爲め圖書を定價にて讀者に供給せんとする意圖を以つて內外圖書配給を一元化する方針が二元化、三元化にもなる事態を生み、設立擔當者である滿洲圖書會社が事態收拾のため狂奔する樣な結果になりその成行はすこぶる重視されてゐる

管煙戒煙所も元旦から國營

禁煙總局の移管委員會

禁煙總局の設置に伴ひ各省縣の管煙戒煙並に製膏所の國營移管が元旦から實施されるので、これが移管事務協議のため禁煙總局では五日午前十時から民生部會議室に禁煙機構改善打合會を開催、各省擔當者約五十名出席裡に午前中機構の改善に關する當局者の說明あり午後は公營から官營への移管に對する協議を行ひ、結局配給の一元化をはかるため從來各縣毎に設置されてゐた製膏所を新京、奉天、哈爾濱、齊々哈爾、大連の五ケ所に統合、管煙、戒煙所は元旦を期し國營の看板に塗り替へ吏員も禁煙總局に引繼ぐことになつた、尚このほか今後の取締り方針及び事務遂行上につき種々懇談した

投資事業公債發行通則公布

日貨第三次投資事業公債の發行通則ならびに第一回發行規程は六日附經濟部令を以て公布された

小松原中將歸還

【門司國通】滿洲國防第一線の護りに在ること一年半ノモンハン事件にわが武威を輝かした小松原中將は五日朝大連より門司寄港の日滿連絡船で歸還、同船で神戸に向つた

物價調整に協和會に委員會

先づ生必品問題解決乘出し

協和會中央本部では國防國家建設により派生する戰時經濟と國民生活の摩擦に對しては極力これが調整の方策を講ずることになり明年度工作方針の重要事項として調整問題を採擇、これが具體的對策については目下工作方針を立案第二分科會において研究を進めてゐるが、調整工作を促進する實行機關としては物價委員會（假稱）を設置し同委員會を中心として物價昂騰の抑制、糧穀配給の圓滑化等戰時經濟と國民生活の摩擦面縮小に努めることに決定をみてゐる

同委員會は中央及び各地方協和會務機構內に設置され、工作に當つてはそれぞれ有機的關係を保ちつゝ中央、地方の事情をにらみ合せて迅速な活動を展開することになつてゐるが、委員會設置は一面から言へば物の分野にまで問事機能を擴大したた點に意義を有して居り謂はゞ政府、特殊會社對國民の物資需給上における中間的存在として委員會實現後の活動が注目される

なほ同委員會構成の上は日滿各家庭を惱ましてゐる米小麥、石炭等の主要生活必需品問題の解決から先づ活動が開始される模樣である

新鮮な牛乳をふんだんに供給

酪農會社 新春期し創立

牛乳の消費量は最近急增の一途を辿つて居り今後の人口增加と市民の榮養保健知識の普及發達から三年後には市民が直接口にする牛乳のみでも一日五十石に達しようと豫想されて居り滿洲國では特に酪農において先進北海道に比し著しく自然的條件に惠まれてゐる點を考へ合せると「牛乳」をめぐる事業の有望性が確認されるので新京特別市公署の監督の下に新京酪農株式會社を新春を期して設立することゝなつた

同社資本金は施設費、創立費、運轉資金を含めて百五十萬圓、場所ならびに着工時期は目下銓衡中であるが設立の曉には新京における酪農の發達を促進すると共に新鮮廉價なる牛乳および加工品を供給出來るものとして期待されてゐる

專管公社打合會

專管公社は五日午前十時より同社（特産中央會）會議室において定例特産打合せ會を開催、隱岐經濟部物價科長、石坂農務司長、公社側向坊理事長、松島副理事長、山路、尾上、小林各理事出席、大豆出廻り不振對策その他當面の問題につき種々懇談を遂げた

七分搗米に意外な難關

色が黒いので？ 品定めに困難

買付價格決定に思案投首

時局の脚光を浴びて華々しく登場した七分搗米が價格決定の段に至つて暗礁に乘りあげ産業部をすつかり惱ませてしまつた、といふのは白米なら精白されてゐるので等級價格決定も容易であつたが、七分搗米は專門家でも一寸見分けがつかないといふ難點があるからだ

現在市販のものは六月一日の白米建値で暫定的に價額を決定してゐるが新米出廻期を迎へて早急に販賣價格決定の要があり糧穀會社の申請により價格決定に着手してみるとたとへ等級を決めても糧穀會社から市に卸された場合等級を誤魔化す不正商人のはびこる恐れがあり、といつて一元的な建値にすれば惡質な米ばかりが出廻りはしないかとの憂慮も生れ、それでは國民保健上から見て七分搗米奬勵がかへつて惡い結果を齎すことになるかも知れずとまるで八幡の藪知らずにおちこんでしまつた形だ

といつて未解決ではすまぬ問題だけに産業部では經濟部の協力をもとめて膝つき合せての談合の結果どうやら良策にありつけたものらしくこゝ數日中に發表の運びとなつたが扨てどんな等級づけをするか玄人筋の興味をそそつてゐる

平滬鐵板の公定價格決る

首都警察經濟保安股では市内の標準用平滬鐵板廿七番の協定價格につき審議中であつたが五日左の如く決定近く業者に通達することになつた

直徑四寸八十錢、五寸九十五錢、六寸一圓〇五錢七寸一圓十五錢

東亞經濟懇談會

第一回大會開く

【東京國通】東亞經濟懇談會の第一回大會第一日は五日午前十時より帝國ホテルで開催

日本側＝鄕懇談會長、八田日本本部長以下財界有力者各官廳關係官 滿洲側＝李交通部大臣、阮駐日大使 華北側＝陸實業部次長、周華北本部長代理 華中側＝沈維新政府財政部次長、陳華中本部長、陳華興商銀監事 蒙疆側＝杜蒙古聯合自治政府産業部長、寺崎蒙疆本部長、その他金厦門市政府財政局長歐廣州市公署復興署長等

三百餘名出席、まづ河原日本本部理事の開會の辭につゞいで皇軍に感謝の默禱を捧げ議長に日本本部長八田嘉明氏副議長に華中本部長陳紹僞、蒙疆本部長寺崎英の兩氏を決定、鄕懇談會長ほか各代表の挨拶あり正午一旦休憩出席者一同はホテル內で開催の外務、大藏、農林、商工の四大臣共同主催の午餐會に臨んだ、右午餐會においては野村外相より歡迎の辭を兼ね一場の挨拶あり懇談を重ねた後更に午後二時より大會を再開日程通り前比支經濟顧問平生釟三郎氏ならびに青木企畫院總裁より東亞經濟の建設に關し講演があり午後五時第一日を了る

あすは聞ける懷しの夫の聲

獨逸からの放送を待つ呂公使夫人

駐獨公使呂宜文氏は六日夜七時半から三十分間、戰火の獨逸からなつかしの故國に向け、MTCYのマイクを通じて一年ぶりの聲を傳へるが、それを新京驛前日升棧旅館の一室で誰よりも待ちこがれてゐる母と子の三人、それは去る八月廿六日ハンブルグから靖國丸で戰禍迫つた獨逸を後にし恐怖の地中海を經てこの十日ほど前漸く新京に歸つたばかりの呂公使夫人文英（三八）さんと長女世昭（一六）さん、次男世楨（一二）君の姉弟である、呂文英夫人等は十一月六日ウスリー丸で神戸から大連に着き同地に暫く滯在の後同月末新京に歸つたものだが、折角二つも持つてゐる自邸は皆關係官廳の職員や親類に貸してあるため、とんだ住宅難の飛沫を浴びて主屋を奪はれ狹い日升棧の六十四號室で夕餉の火鍋を作る手をやすめ「急に歸國したものですからこんな有樣でほんとに困つてゐます」と流暢な日本語で嘆き乍ら明日の歐洲の悲ひ待つ心と戰禍の歐洲の思ひ出を語つた

私たちが發ちます時はまだ宣戰にならなかつたのでそれ程恐しいといふほどの事はありませんでした然し何か切迫した空氣は女の私達にもひしひしと感じられ伯林でもハンブルグでも自動車はガソリン節約のため殆ど公用の外は動いてゐなかつた樣でした、昨日も主人から手紙が參りましたが、此方に心配させぬためか何もあちらの樣子は書いてなく、たゞ東京に預けてある長男呂世相（一四）や家族のことだけを案じて參りました獨逸に參つてもう一年餘りになりますが戰爭の續く限りなかなか歸國も出來ますまい空襲がないので安心ですしお國の御役にたつて元氣で働いてくれゝばいゝと希つてゐます、明日の放送は是非聽きたいのですがこんな宿屋住ひのため設備もないので誰かの御厄介になろうかと思案に餘つてゐるところです【寫眞はあすの放送待つ呂公使夫人】

戀仇を突く

四日午後十一時すぎ市內西五馬路金正肅（十九）方で東三馬路東亞商會店員崔昌善（二〇）が仲よく歡談中、七馬路麗人會館コックの中學周（二三）が入りこみざまに肉切庖丁を揮ひ崔の胸部をつきさし昏倒するのをみすまして逃走した、急報により四道街署益村主任らがかけづけ間もなく犯人を逮捕したが、金は麗人會館の女給で三角關係の醜いもつれから刃傷沙汰を生んだもの崔は博愛病院に收容手當の結果一命をとりとめた

中國回教代表來京

東京で去月十六日から卅日まで開催された第一回中國回教總聯合大會に出席した王清源北京代表以下一行九名の北京、河南、太原、張家口、包頭、蘭州各回教徒代表は四日夜八時廿分新京着はとで滿洲代表とつれだつて來京、五日朝來國務院治安部その他の關係方面を歷訪挨拶を交し同日午後六時から城內淸心寺の治安部招宴に臨んだ

大竹貴族院議員辭任

【東京國通】貴族院議員大竹貫一氏はかねて勅選議員辭任の辭表提出中であつたが、四日勅許を得五日左の如く發表された

貴族院議員 大竹貫一
依願免貴族院議員

七分搗

ある一日記者團に取りまかれた關屋副市長東滿行政視察に僻地の住民の驚ろくべき困苦に堪ゆる生活ぶりを見て歸つて來たばかりのところとて▼自分が體驗して來た樣な氣焔に何かさて負けぬ氣の記者連「新京に歸つてさぞほつとしたでせう」と言へば例のべらんめえ口調で「冗談云つちやいけねえよ、毎朝毎朝九時半から廳舍の屋上で建國體操だ」▼記者團「もつとも見て居ませんからね、え？」「ちやどうだい、君達毎朝俺と建國體操をやらうぢやねえか」に流石の猛者連も「やりませう」と答へたものは一人もなかつた

天氣と氣温

けふの天氣 北東の風晴時々曇
きのふの氣温 最高零度 最低零下八度四

淺春胡同【五】

工　清定
白崎海紀(繪)

夜の女 (5)

「え？芝居をやれつて？冗談言つてる。」
「いいえ、眞面目な話よ。あなたに今晩二十分間だけその兄さんの代役を勤めてほしいの。」
「……？」
だまつてゐる哲也へ、ルミは必死にすがつて來た。
「だつてあなたはその兄さんに、生寫しなんだもの。あたし、さつき、歩廊であなたを一目見てから、自分の眼を疑つてる位よ。全く瓜二つてこのことね。」
「おい、嫌だぜ、僕がその呑氣上等兵殿と似てゐるなんて……。」
「あら、あなたが心配するまでもなく、あたしだつてすぐ思ひ直したのよ。あの兄さんなら、あんな立派なみなりをしてゐる筈がないつて。だけど、氣の故かしら、膠までそつくりよ、餘程、前世の因縁とかいふのが、深いんだわ。どう、災難ついでに、思ひきり勤めてくれない？」
「は、は、は、うまくおだてるなよ。參つたあ。」
返事する適當な言葉が、彼には見つからなかつた。それを濕ち拒絶する態度でもないと見て取つたルミはとどめを刺すやうに迫つて來た。
「ね、頼むわよ。素性の知れない夜の女の誘ひを、素直に聞いて下すつたその度胸で、きつと立派に勤まると思ふわ、あたし。」
「おい、おい。圖に乘つていやにおだてるぢやないかで、一體どうすればいいんだい？」
「何でもないことよ。その眼鏡を外して、美代ちやんの枕もとに兄さんらしく二十分ほど、坐つてくれたらそれでいいの。」
ルミは至つて手易いことのやうに、すらすらと言つてのけた。
「だつて、もし、その親爺が家に歸つてゐたら……？」
「さう、その時は勿論お役御免よ。ただ、あの美代ちやんの業苦を輕くしてあげたい、あたしの仕組んだ芝居よ、どう、一寸、あたしの筋書……。」
（この女の何處から、こんな突拍子もないたくらみが湧き出たのだらう。）
彼はまぢまぢとルミを見つめた。するとそのひたむきな視線に氣づいたルミは一寸たぢろいでくすつと笑つた。
「さあ、それぢや、これから科白のお稽古よ。……あ、ここから右へ折れるのよ。その小路へ……。」
街燈も軒燈もない小路へ馬車を入れようと馬夫が鞭を振つた。前方をとぼとぼ歩いてゐたインヴァネスの男が、道角の電柱の方へ避けようとしたはずみに、足を辷らせた。
と、殆ど同時に自動車の強烈なヘッド・ライトが、凍てついた路面を俄に浮き上らせた。——自動車がその小路を向ふから疾驅して來て、やにはに曲らうとした。
途端に馬車を發見した自動車の前輪が、本能的に狂つて電柱の方へ向きをかへた。
無幾なうめきと、黒い人影とが、地上にのたうちまはつた。
自動車の運動手台から、わけのわからぬ叫び聲が聞えて來た。——降つて湧いた、一瞬間の出來事である。
「と、どうしたのよ！」
馬車から飛降りたルミがその運轉手に詰め寄つて行つた。

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時廿五分
△釜山行	八時
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時三十分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十分
△大連行	十一時十三分
△奉天行	十一時三十分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△哈爾濱行	前三時四十二分
△德惠行	五時十五分
△哈爾濱行	六時三十分
△哈爾濱行	八時十分
△哈爾濱行	九時
△哈爾濱行	後十二時二十三分
△哈爾濱行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十分
△德惠行	七時十分
△哈爾濱行	十時卅五分
△牡丹江行	十一時四十五分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時五分
△羅津行	八時卅五分
△圖們行	九時四十五分
△吉林行	後一時
△牡丹江行	三時二十分
△吉林行	七時廿五分
△清津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時廿五分
△前郭旗行	後五時廿五分

◎大連方面より

發	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時四十五分
△大連發	八時
△奉天發	八時四十六分
△四平街發	九時四十分
△四平街發	十時卅二分
△釜山發	十一時四十三分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時二十分
△奉天發	九時廿五分
△釜山發	九時四十五分
△奉天發	十一時三十分

◎哈爾濱方面より

發	時刻
△德惠發	前零時三十分
△哈爾濱發	二時二十分
△牡丹江發	六時五十四分
△哈爾濱發	七時十四分
△德惠發	十一時三十分
△哈爾濱發	後十二時五十分
△哈爾濱發	一時三十分
△哈爾濱發	三時十分
△哈爾濱發	六時四十分
△哈爾濱發	九時三十分
△哈爾濱發	十一時三十分

◎圖們方面より

發	時刻
△清津發	前七時三十二分
△吉林發	十一時廿四分
△牡丹江發	後二時十分
△吉林發	五時廿一分
△圖們發	八時四十分
△羅津發	九時三十分
△吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發	時刻
△前郭旗發	十二時一分
△白城子發	後六時卅一分
△白城子發	九時五分